

対象学年組：第 1 学年 A 組

教科担当者：（A組：磯村 海

使用教科書：（ 新編現代の国語（東京書籍） ）

- 教科 国語 の目標：
- 【知識及び技能】社会生活に必要な国語について、その特質を把握し、適切に使うことができる。

【思考力、判断力、表現力等】社会生活に必要な思考力や想像力、伝え合う力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり、言葉を吸収して理解を深め、言葉を使用して他者や社会と関わろうとする態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。	・文章の種類を踏まえ、構成・展開・表現などから内容を捉え、解釈することができる。 ・相手を意識して、構成や展開を工夫し、筋道の通った表現をすることができる。	・試行錯誤しながら、言葉で表現されたものを理解し、自分も言葉で表現しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・聞	書	読					
1 学 期	単元:自分の思いを文章にしてみよう 【知識及び技能】 ・言葉の使い方、文、話、文章の効果的な組立て方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・読み手の理解が得られるよう、構成や展開を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・テーマについて読み手に伝わるよう構成や展開を工夫し、内容を粘り強く考えてよりよいものにしようとする。	・「好きなこと、もの」をテーマにして文章を書く。		○		【知識・技能】 ・文、話、文章の効果的な組立て方について理解している。 【思考・判断・表現】 ・読み手の理解が得られるよう、構成や展開を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・テーマについて読み手に伝わるよう構成や展開を工夫し、内容を粘り強く考えてよりよいものにしようとしている。	○	○	○	12
	単元:文章から作者の思いを捉えよう 【知識及び技能】 ・本文の語句のうち指示されたものについて意味や使われ方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・随筆の構成や内容について叙述を基に的確に捉え、筆者の思いを把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文の構成を把握し、話し合いながら粘り強く筆者の思いを捉えようとする。	『こそそめスープ』 (村田沙耶香) ・学習課題に沿って本文を読む。 ・本文を踏まえ、話し合いながら筆者の思いを捉える。 ※毎時間、漢字の小テストを行う。		○		【知識・技能】 ・本文の語句のうち指示されたものについて意味や使われ方を理解している。 【思考・判断・表現】 ・随筆の構成や内容について叙述を基に的確に捉え、筆者の思いを把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文の構成を把握し、話し合いながら粘り強く筆者の思いを捉えようとしている。	○	○	○	13
	単元:随筆の構成を理解しよう 【知識及び技能】 ・本文の漢字について、正しく読んだり書いたりできる。 【思考力、判断力、表現力等】 随筆の構成や内容について叙述を基に的確に捉え、筆者の思いを把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習課題に沿って、本文の構成を把握し、粘り強く本文を理解しようする。	『ルリボシカミキリの青』 (福岡伸一) ・学習課題に沿って本文を読む。 ・本文を踏まえ、話し合いながら筆者の思いを捉える。 ※毎時間、漢字の小テストを行う。		○		【知識・技能】 ・本文の漢字について、正しく読んだり書いている。 【思考・判断・表現】 ・随筆の構成や内容について叙述を基に的確に捉え、筆者の思いを把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、本文の構成を把握し、粘り強く本文を理解しようとしている。	○	○	○	13
	単元:評論の構成を理解しよう 【知識及び技能】 ・具体例と筆者の意見の関係に注目しながら読み、文章の構成について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・評論の構成や内容について叙述を基に的確に捉え、筆者の考えを把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習課題に沿って、本文の構成を把握し、粘り強く本文を理解しようとする。	『未来をつくる想像力』 (石田英敬) ・学習課題に沿って本文を読む。 ・本文を踏まえ、話し合いながら筆者の考えを捉える。 ※毎時間、漢字の小テストを行う。		○		【知識・技能】 ・具体例と筆者の意見の関係に注目しながら読み、文章の構成について理解している。 【思考・判断・表現】 ・評論の構成や内容について叙述を基に的確に捉え、筆者の考えを把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、本文の構成を把握し、粘り強く本文を理解しようとしている。	○	○	○	15

[illegible]

高等学校 令和5年度（2学年） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語

科目：言語文化

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組

教科担当者：（A組：磯村 海 ）

使用教科書：（ 新編言語文化（東京書籍） ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】社会生活に必要な国語について、その特質を把握し、適切に使うことができる。

【思考力、判断力、表現力等】社会生活に必要な思考力や想像力、伝え合う力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり、言葉を吸収して理解を深め、言葉を使用して他者や社会と関わろうとする態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。	・文章の種類を踏まえ、構成・展開・表現などから内容を捉え、解釈することができる。 ・相手を意識して、構成・展開・表現などを工夫し、内容が効果的に伝わる文章を書くことができる。	・試行錯誤しながら、言葉で表現されたものを理解し、自らも言葉で表現しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・聞	書	読					
1 学 期	単元:随筆を味わおう 【知識及び技能】 ・本文の漢字について、正しく読んだり書いたりできる。 【思考力、判断力、表現力等】 随筆の構成や内容について叙述を基に的確に捉え、筆者の思いを把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文の構成を把握し、話し合いながら粘り強く筆者の思いを捉えようとする。	『さくらさくらさくら』 (俵万智) ・学習課題に沿って本文を読む。 ・本文を踏まえ、話し合いながら筆者の思いを捉える。 ※毎時間、漢字の小テストを行う。			○	【知識・技能】 ・本文の漢字について、正しく読んだり書いている。 【思考・判断・表現】 ・随筆の構成や内容について叙述を基に的確に捉え、筆者の思いを把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、本文の構成を把握し、粘り強く本文を理解しようとしている。	○	○	○	6
	単元:文章から作者の思いを捉えよう 【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、想像を支える働きがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・随筆に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え内容を解釈することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習課題に沿って、本文に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え粘り強く内容を解釈しようとする。	『「美しい」ということ』 (赤木明登) ・学習課題に沿って本文を読む。 ・本文を踏まえ、話し合いながら筆者の思いを捉える。 ※毎時間、漢字の小テストを行う。			○	【知識・技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・随筆に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、本文に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え粘り強く内容を解釈しようとしている。	○	○	○	7
	単元:古典作品と現代を比べてみよう 【知識及び技能】 ・古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習課題に沿って、本文に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、粘り強く自分の考えを持つようとする。	『徒然草』 今日はそのことをなさんと思へど 『枕草子』 うつくしきもの ・学習課題に沿って本文を読む。 ・本文を踏まえ、話し合いながら自分の考えを持つ。 ※適宜、語句の小テストを行う。			○	【知識・技能】 ・古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、本文に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、粘り強く自分の考えを持つようとしている。	○	○	○	12
	単元:小説の構成を理解しようとする 【知識及び技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・小説の構成や内容について叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習課題に沿って、本文の構成を把握し、粘り強く本文を理解しようとする。	『デューク』 (江國香織) ・学習課題に沿って本文を読む。 ・本文を踏まえ、話し合いながら内容や構成を捉える。 ※毎時間、漢字の小テストを行う。			○	【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・小説の構成や内容について叙述を基に的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、本文の構成を把握し、粘り強く本文を理解しようとしている。	○	○	○	7

[illegible]

令和5年度 年間授業計画

教科・科目	国語・現代文A	単位数	2 単位
教科書 (出版社)	現代文A (東京書籍)	学 年	3 学年

学期	時間	授 業 内 容 (単 元)	重 点 項 目・評 価 の 観 点
一 学 期	2 8	【詩歌】 I was born (吉野弘) 短歌 俳句 毎時間の漢字練習	・詩歌で用いられる表現技法を理解することができる。 ・詩歌に表れたものの見方、考え方を読み取り、作品鑑賞や話し合いを通じて自ら詩歌を創作することができる。 評価 平常点、漢字・語句の小テスト、考查得点、提出物の総合評価。
二 学 期	3 2	【随筆】 分からないからおもしろい (木内昇) 【小説】 真面目な二人 (川上弘美) 毎時間の漢字練習	・漢字や語句の用いられ方に慣れ、文章などで使うことができる。 ・文章の種類を踏まえ、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に表れたものの見方考え方を読み取り、それについて話し合いながら自分の考えをまとめることができる。 評価 平常点、漢字の小テスト、考查得点、提出物の総合評価。
三 学 期	1 8	【評論】 「身銭」を切るコミュニケーション (内田樹) 【評論】 思考の肺活量 (鷲田清一) 毎時間の漢字練習	・漢字や語句の用いられ方に慣れ、文章などで使うことができる。 ・評論の内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・本文を踏まえテーマについての課題を設定し、話し合いながら自分の考えをまとめることができる。 評価 平常点、漢字の小テスト、考查得点、提出物の総合評価。

*授業は学期毎の予定に時間を示す（目安：1 学期 1 2 週、2 学期 1 4 週、3 学期 9 週）。

*授業内容は、生徒の理解度等に応じ計画と異なる場合があります。

令和5年度 年間授業計画

教科・科目	国語・現代文A	単位数	2単位
教科書 (出版社)	現代文A (東京書籍)	学 年	4 学年

学期	時間	授 業 内 容 (単 元)	重 点 項 目・評 価 の 観 点
一 学 期	28	【評論】 思考の肺活量 (鷲田清一) 【随筆】 分からないからおもしろい (木内昇) 毎時間の漢字練習	・漢字や語句の用いられ方に慣れ、文章などで使うことができる。 ・文章の内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・本文を踏まえテーマについての課題を設定し、話し合いながら自分の考えをまとめることができる。 評価 平常点、漢字の小テスト、考査得点、提出物の総合評価。
二 学 期	32	【随筆】 さくらさくらさくら 【小説】 山椒魚 (井伏鱒二) 毎時間の漢字練習	・漢字や語句の用いられ方に慣れ、文章などで使うことができる。 ・文章の種類を踏まえ、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に表れたものの見方考え方を読み取り、それについて話し合いながら自分の考えをまとめることができる。 評価 平常点、漢字の小テスト、考査得点、提出物の総合評価。
三 学 期	18	【詩歌】 永訣の朝 (宮澤賢治) 短歌 俳句	・語句の用いられ方に慣れ、文章などで使うことができる。 ・詩歌に表れたものの見方、考え方を読み取り、作品鑑賞や話し合いを通じて自ら詩歌を創作することができる。 評価 平常点、語句の小テスト、考査得点、提出物の総合評価。

*授業は学期毎の予定に時間を示す(目安: 1 学期 12 週、2 学期 14 週、3 学期 9 週)。

*授業内容は、生徒の理解度等に応じ計画と異なる場合があります。

令和5年度 年間授業計画

教科・科目	国語・古典A	単位数	2単位
教科書 (出版社)	古典A 物語選 改訂版 (大修館書店)	学 年	4 学年 選択

学期	時間	授 業 内 容 (単 元)	重 点 項 目・評 価 の 観 点
一 学 期	28	【古文】 『伊勢物語』 初冠、つひにゆく道 『源氏物語』 若紫 『蜻蛉物語』 町の小路の女	・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典に表れた思想や感情を読み取り、話し合いながら人間・社会・自然などについて自分の考えを持つ。 評価 平常点、考査得点、提出物などの総合評価。
二 学 期	32	【古文】 『枕草子』 ありがたきもの、にくきもの 『徒然草』 名を聞くより 世に語り伝ふること 今日はそのことをなさんと思へど	・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典などに表れた感情を読み取り、話し合いながら人間・社会・自然などについて自分の考えを持つ。 評価 平常点、考査得点、提出物などの総合評価。
三 学 期	18	【漢文】 『故事』 『孔子と門人たち』	・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・漢文などに表れた思想や感情を読み取り、話し合いながら人間・社会・自然などについて自分の考えを持つ。 評価 平常点、考査得点、提出物などの総合評価。

*授業は学期毎の予定に時間を示す（目安：1学期12週、2学期14週、3学期9週）。

*授業内容は、生徒の理解度等に応じ計画と異なる場合があります。

高等学校 令和5年度（1・2学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅰ

教科： 数学 科目： 数学Ⅰ 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ 組

教科担当者： 相樂 昇

使用教科書：（数研出版 新 高校の数学Ⅰ ）

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数々のよさを認識し積極的に数々を活用しようとする態度、粘り強く考え数々の論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、2次関数、三角比、集合と論証、及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元：第1章 数と式 1 節 数と式の計算 ・式の見方を豊かにするとともに、整式の加法・減法・乗法、および因数分解について理解を深め、公式などを利用して式の展開や因数分解を能率よく計算できるようにする。 ・数を実数まで拡張することの意義を理解し、実数の概念や平方根を含む計算の基本的な考え方について理解する。 ・分数が有限小数や循環小数で表される仕組みを理解する。	第1章 数と式 1 節 数と式の計算 1. 計算の基本 2. 単項式と多項式 3. 多項式の加法と減法 4. 多項式の乗法 5. 展開の公式 6. 因数分解 7. 展開、因数分解の工夫 8. 根号を含む式の計算 9. 実数	【知識・技能】 ・単項式と多項式について理解できる。 ・乗法公式や因数分解の公式の理解を深めることができる。 ・式の展開や因数分解を、公式を利用して処理することができる。 ・数を実数まで拡張することの意義を理解している。 ・ $\sqrt{\quad}$ を含む式の四則計算ができる。 ・分母の有理化ができる。 ・いろいろな数を、自然数、整数、有理数、無理数で分類することができる。 【思考・判断・表現】 ・同類項をまとめることや、かっこを外すことを利用して、整式の加法・減法を考察できる。 ・特定の文字に着目したり、式を1つの文字で置き換えたりして、式を多面的に捉えることができる。 ・式の展開と因数分解の相互の関係がわかる。 ・分数が、有限小数や循環小数で表される仕組みを考察することができる。 ・分母を有理化する意義がわかる。 ・循環小数を分数で表すことを考察できる。 ・数を拡張してきた過程や数の四則計算の可能性について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・式の展開や因数分解に関心をもち、目的に応じて式を変形しようとしている。 ・数の計算に乘法公式や因数分解の公式が利用できることに関心をもち、その計算に公式を利用しようとしている。 ・ $\sqrt{\quad}$ を含む式の計算に関心をもち、いろいろな計算に積極的に取り組もうとしている。 ・数の体系を実数まで拡張する意義に気付くとともに、数を拡張していく過程に関心をもち、調べようとしている。	○	○	○	25
	単元：2 節 1次不等式 ・不等式の解の意味・不等式の性質について理解し、1次不等式が解けるようにする。	2 節 1次不等式 1. 1次方程式 2. 不等式 3. 不等式の解	【知識・技能】 ・数量関係を1次不等式で表すことができる。 ・不等式の解の意味や不等式の性質を理解している。 ・1次不等式や連立不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 ・不等号の性質を等号の性質と対比してとらえ、不等式の性質を基に1次不等式の解き方を考察できる。 ・日常の事象などを数学的に捉え、1次不等式を問題解決に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数量関係を不等式で表すことのよさが分かり、意欲的に考えようとしている。 ・具体的な事象の考察に1次不等式を活用しようとしている。	○	○	○	17

2 学 期	単元: 2 章 2 次関数 1 節 2 次関数のグラフ ・関数の概念について理解し、2 次関数のグラフがかけられるようにする。	2 章 2 次関数 1 節 2 次関数のグラフ 1. 関数 2. 1 次関数のグラフ 3. 2 次関数のグラフ (1) 4. 2 次関数のグラフ (2)	【知識・技能】 ・2 次関数のグラフの特徴を理解できる。 ・2 次関数の式から、そのグラフをかくことができる。 ・$y=ax^2+bx+c$ の式を $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形(平方完成)することができる。 【思考・判断・表現】 ・$y=ax^2+bx+c$ の式を $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形(平方完成)したうえで、そのグラフをかくことができる。 ・2 次関数の式とグラフとの関係について、多面的に考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身の回りの現象で、関数の関係になっているものを関心を持ち、調べようとしている。 ・コンピュータを使って、いろいろな 2 次関数のグラフをかき、その特徴を調べようとしている。	○	○	○	28
	単元: 2 節 2 次関数の値の変化 ・2 次関数の値の変化についてグラフを用いて考察し、その最大値や最小値を求められるようにする。 ・2 次方程式の解と 2 次関数のグラフとの関係について理解するとともに、2 次関数のグラフを用いて 2 次不等式の解を求められるようにする。	2 節 2 次関数の値の変化 1. 2 次関数の最大値・最小値 2. グラフと 2 次方程式 3. グラフと 2 次不等式	【知識・技能】 ・2 次関数の最大値・最小値を理解している。 ・2 次方程式の解と 2 次関数のグラフとの関係について理解している。 ・2 次不等式の解と 2 次関数のグラフとの関係について理解し、グラフを用いて 2 次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・定義域に制限がある 2 次関数の最大値・最小値について考察できる。 ・日常の事象について、2 次関数の最大値・最小値を利用して考察できる。 ・2 次不等式を解く際に、簡単に因数分解できない 2 次式について、2 次方程式の解の公式を利用して考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・2 次関数の値の変化に関心を持ち、具体的な事象の考察に 2 次関数の最大・最小を活用しようとしている。 ・$D=b^2-4ac$ の符号を用いると、2 次関数のグラフ・2 次方程式・2 次不等式の関係がまとめられることに興味を持ち、D の式を用いてグラフと共有の個数を考えようとしている。	○	○	○	20
3 学 期	単元: 3 章 三角比 1 節 三角比 ・鋭角の三角比の意味と相互関係について理解するとともに、鋭角の三角比を利用して 2 地点の標高差や水平距離を求められるようにする。 ・三角比を鈍角まで拡張する意義を理解する。	3 章 三角比 1 節 三角比 1. 直角三角形 2. 三角比 3. 三角比の利用 4. 三角比の相互関係 5. 鈍角の三角比	【知識・技能】 ・サイン、コサイン、タンジェントの意味を理解できる。 ・直角三角形について、三角比の値を求めることができる。 ・三角比の相互関係について理解できる。 ・三角比を鈍角まで拡張することの意義を理解できる。 ・鋭角の三角比を理解できる。 【思考・判断・表現】 ・直角三角形において、2 辺の長さが与えられた場合について、三平方の定理を利用することで残りの 1 辺の長さが得られ、それによって三角比の値を求めることができることを考察できる。 ・日常の事象について、三角比を利用して高さや距離が求められることを考察できる。 ・三角比の相互関係を利用して、1 つの三角比の値から残りの三角比の値が求められることを考察できる。 ・鋭角の三角比を用いて、鈍角の三角比の値を求められることを考察できる。 ・鋭角の三角比と同様に、鈍角の三角比においても、三角比の相互関係を利用して、1 つの三角比の値から残りの三角比の値が求められることを考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・直角三角形において、三角形の大きさにかわらず、角の大きさだけで三角比の値が決まることの良さがわかる。 ・校舎の高さや、2 地点の標高差・水平距離などを、三角比を用いて調べようとしている。	○	○	○	15
	単元: 2 節 三角形への応用 ・正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求められるようにする。 ・三角比を用いて三角形などの面積を求めたり、空間図形の考察に活用できるようにする。	2 節 三角形への応用 1. 正弦定理 2. 余弦定理 3. 三角形の面積	【知識・技能】 ・正弦定理や余弦定理について理解し、三角形の辺の長さや角の大きさを求めることができる。 ・三角比を用いて三角形の面積を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・正弦定理や余弦定理を導く過程を考察できる。 ・日常の事象について、正弦定理や余弦定理を利用して高さや距離が求められることを考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・余弦定理と三平方の定理の関係に関心をもっている。 ・正弦定理や余弦定理を利用することで、実測が難しい距離などを求められることに興味をもっている。				12
							合計
							117

高等学校 令和5年度（1・2学年用） 教科 数学 科目 数学A

教 科： 数学 科 目： 数学A 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ 組

教科担当者： 相 楽 昇

使用教科書：（ 数研出版 新 高校の数学A ）

教科 数学 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
数子のよさを認識し積極的に数子を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】うとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元：第1章 場合の数と確率 1節 場合の数 ・場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	第1章 場合の数と確率 1節 場合の数 1. 集合 2. 集合の要素の個数 3. 和の法則と積の法則 4. 順列 5. 組合せ	【知識・技能】 ・共通部分、和集合、空集合、全体集合、補集合など集合に関する用語を理解し、それらを求めることができる。 ・集合の要素の個数を、数え上げることによって求めることができる。 ・補集合や和集合の要素の個数の公式を理解し、それらを用いて要素の個数を求めることができる。 ・和の法則や積の法則の利用場面を理解し、事象に応じて使い分けて場合の数を求めることができる。 ・順列の意味を理解し、公式を利用することができる。 ・簡単な場合の数を、順列の考えを利用して求めることができる。 ・組合せの性質を理解し、公式を利用することができる。 ・様々な場合の数を、組合せの考えを利用して求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・条件を満たすものを集合の要素として考え、表すことができる。 ・ベン図を利用して集合を図示することで、補集合や和集合の要素の個数を考察することができる。 ・和の法則を、表を利用することで、また積の法則を、樹形図の特別な場合として考察することで見いだすことができる。 ・となりあう場合の順列のような、特殊な条件が付く順列を、見方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができる。 ・組合せの総数と順列の総数の関係を理解し、順列の総数をもとにして、組合せの総数を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・集合の考えについて興味をもち、いろいろな集合を表そうとする。 ・ベン図や公式を利用することで、集合の要素の個数を数学的に数えようとする。 ・場合の数を求めるのに、効率的に考えることができる法則（和の法則・積の法則）があることに興味をもち、使いこなそうとしている。 ・様々な場合の数を求めるのに、順列の考え方が使えることに興味・関心をもつ。 ・順列と組合せの違いや、様々な場合の数を求めるのに、組合せの考え方が使えることに興味・関心をもつ。 ・組合せの考え方を利用して、図形の個数や遠回りをしない道順などの具体的な事象の場合の数を求めようとする。	○	○	○	21

	単元：2 節 確率 ・確率の意味と確率を求めるときの基本的な法則や考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	2 節 確率 1. 事象と確率 2. 確率の計算 3. 独立な試行と確率	【知識・技能】 ・確率の定義を理解し、簡単な確率を求めることができる。 ・確率の性質を理解している。 ・表や組合せの考えを活用して、確率を求めることができる。 ・排反事象の意味を理解し、確率を求めることができる。 ・余事象の意味を理解し、確率を求めることができる。 ・試行が独立か、独立でないかを判断することができる。 ・独立な試行の確率を、公式を用いて求めることができる。 ・反復試行の確率を、公式を用いて求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・試行の結果を事象としてとらえ、事象を集合と結びつけて考察することができる。 ・排反事象や余事象の確率などを利用して、複雑な事象の確率を考察することができる。 ・独立な試行の確率を、具体的な例から直観的に考えることができる。 ・反復試行の意味を理解し、確率の求め方を組合せの考えと関連付けて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・さいころを何回も投げる実験において、ある目が出る割合が一定の値に近づくことに興味をもち、その値の求め方を考えようとする。 ・ものごとの起こりやすさを、数値を使って計算で求めようとする。 ・理論上のさいころと実生活におけるさいころの厳密性の違いを知ること、数学が理論的な思考によって成り立っていることに興味・関心をもつ。 ・これまでに学んだ確率の性質を利用して、いろいろな場合の確率を意欲的に求めようとする。 ・独立な試行の確率や反復試行の確率について、興味をもって求めようとする。	○	○	○	18
2 学期	単元：第2章 図形の性質 1 節 平面図形 ・平面図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	第2章 図形の性質 1 節 平面図形 1. 図形の基本 2. 角の二等分線と線分の比 3. 三角形の外心、内心、重心 4. 円周角の定理 5. 円に内接する四角形 6. 円の接線 7. 方べきの定理 8. 2つの円 9. 作図	【知識・技能】 ・図形の基本性質を理解し、それらを用いて角の大きさや辺の長さを求めることができる。 ・角の二等分線と線分の比の定理を理解し、それらを用いて辺や線分の長さを求めることができる。 ・三角形の外心、内心、重心の定義とその性質を理解し、それらを用いて角の大きさや線分の長さを求めることができる。 ・円周角の定理を理解し、角の大きさを求めることができる。 ・円に内接する四角形の性質を理解し、角の大きさを求めることができる。 ・接線と弦のつくる角の性質を理解し、角の大きさを求めることができる。 ・方べきの定理を理解し、線分の長さを求めることができる。 ・2つの円の位置関係には5つのパターンがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・角の大きさや辺の長さを求めるのに、図形のどの基本性質を使えばよいかが判断できる。 ・角の二等分線と線分の比の定理を証明するのに、既習事項を用いて、論理的に考察することができる。 ・三角形の外心、内心、重心の性質を証明するのに、既習事項を用いて、論理的に考察することができる。 ・円周角の定理の逆を理解し、等しい角に着目して考察することができる。 ・円に内接する四角形の性質やその逆を証明するのに、既習事項を用いて、論理的に考察することができる。 ・接線と弦のつくる角の性質を証明する際に、場合分けをしながら考察することができる。 ・方べきの定理①の割線PCDを動的にとらえて接線PTを考えた場合が、方べきの定理②であるという数学的な見方ができる。 ・2つの円の位置関係を、動的な視点によって観察・分類することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・図形的基本的な性質について既に学んだ事項を思い出し、それらを活用できる場面を見いだそうとしている。 ・外角の二等分線についても内角の場合と同様の定理が成り立つことに興味をもつ。 ・三角形の外心、内心、重心に関する性質に興味をもち、考察しようとする。 ・四角形が円に内接する条件に興味をもち、考察しようとする。 ・円の接線にはいろいろな性質があることを知り、それぞれの性質と活用法について興味をもつ。 ・2つの円の位置関係について、中心間の距離と半径の関係を積極的に考察しようとする。	○	○	○	21

3 学 期	単元：第3章 数学と人間の活動 ・整数の性質，点の位置の表し方，数学とゲーム・パズルとの関係について，数学的活動を通して理解を深め，それらを事象の考察に活用し，数学により興味をもってもらえるようにする。	第3章 数学と人間の活動 1. 約数と倍数 2. ユークリッドの互除法 3. 2進法	【知識・技能】 ・約数と倍数，素数の定義を理解している。 ・自然数を素因数分解できる。 ・素因数分解を利用することで最大公約数と最小公倍数を求めることができる。 ・ユークリッドの互除法を用いて，2数の最大公約数を求めることができる。 ・ユークリッドの互除法を用いれば，素因数分解が難しい数についても最大公約数を求めることができることを理解している。 ・2進法について理解し，2進法で表された数を10進法で表すことができる。また，10進法で表された数を2進法で表すことができる。 【思考・判断・表現】 ・素因数分解を利用した最大公約数や最小公倍数の求め方を理解し，説明することができる。 ・最大公約数を利用して，長方形を敷き詰めることのできる最大の正方形の大きさについて考察することができる。 ・ユークリッドの互除法の仕組みについて，長方形を正方形に分割する図を通して直感的に理解し，考察することができる。 ・普段使用している記数法が10進法であると認識し，その仕組みを改めて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・最大公約数の考えが，タイルを敷き詰めるといった日常生活における問題に適用できることに興味をもち，解決しようとしている。 ・ユークリッドの互除法の原理の説明に興味・関心をもつ。 ・素因数分解をしなくても，ユークリッドの互除法によって最大公約数が求められることに興味・関心をもつ。 ・数の表し方には10進法以外にもいろいろな方法があることに興味をもち，2進法の他にも方法がないか調べようとする。	○	○	○	18
							合計 78

令和5年度 年間授業計画

教科・科目	数学・数学Ⅱ	単位数	2 単位
教科書 (出版社)	改訂版 新 高校の数学Ⅱ (数研出版)	学 年	3 学年

学期	時間	授 業 内 容 (単 元)	重 点 項 目・評 価 の 観 点
1 学 期	2 8	1 指数関数・対数関数 (1) 指数関数 (2) 対数関数	①指数関数・対数関数の基礎的な内容を理解する。 ②指数関数・対数関数のグラフを書くことができる。
2 学 期	3 2	2 微分法と積分法 (1) 微分法	①微分法の意味を理解し、計算することができる。 ②三次関数のグラフを書くことができる。
3 学 期	1 8	(2) 積分法	①微分法と積分法を理解し、計算することができる。 ②曲線や直線で囲まれた面積を求めることができる。

※授業は学期毎の予定に時間を示す（目安：1 学期 1 4 週、2 学期 1 6 週、3 学期 9 週）。

※授業内容は、生徒の理解度等に応じ計画と異なる場合があります。

令和5年度 年間授業計画

教科・科目	数学・数学A	単位数	2単位
教科書 (出版社)	改訂版 新 高校の数学A (数研出版)	学 年	4 学年

学期	時間	授 業 内 容 (単 元)	重 点 項 目・評 価 の 観 点
1 学期	28	1 順列・組み合わせ (1) 集合・要素の個数 (2) 順列 (3) 組合せ 2 確率 (1) 事象と確率	①命題の定義を理解し、対偶や三段論法を利用することができる。 ②順列と組合せの違いを理解し、計算することができる。 ③実践的な問題を解くことができる
2 学期	32	(2) 確率の計算 (3) 独立な試行と確率 3 平面図形 (1) 外心・内心・重心 (2) 円 (3) 作図	①確率の初等的計算ができる。 ②余事象などの考えを利用できる。 ③実践的な問題を解くことができる ④作図することができる。
3 学期	18	4 整数の性質 (1) 約数と倍数 (2) ユークリッド互除法 (3) 2進法	①整数がもつ性質について考えることができる。 ②2進法の計算ができる。

※授業は学期毎の予定に時間を示す（目安：1学期14週、2学期16週、3学期9週）。

※授業内容は、生徒の理解度等に応じ計画と異なる場合があります。

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科

外国語

科目 英語基礎

教科： 外国語

科目： （英語基礎）

単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ 組

教科担当者： （ A組：中井） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）

使用教科書： （ VISTA English Communication I ）

教科 外国語

の目標：

【知 識 及 び 技 能】 ことばへの関心を高め、豊かな言語観を育てる。

【思考力、判断力、表現力等】 習得した英語の基礎的な知識や技能を生かして、コミュニケーション能力を養成する。

【学びに向かう力、人間性等】 生徒の段階に応じて自律的な学習のための支援を行い、主体的な学びを促進する。

科目 （英語コミュニケーションⅠ）

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ことば、文化、民族の多様性とその共存を国際理解の基本理念とし、国際感覚と国際協調の精神の育成を図る。	基本的な文法事項を使いながら、対話的な学びや深い学びを引き出す総合的かつ創造的な言語活動を目指す。	実際のコミュニケーションにおけるメッセージの役割の重要性を認識し、生徒が主体的に学ぼうとする姿勢を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話〔 や	話〔 発	書					
1 学 期	単元:Color of Spring 【知識及び技能】be動詞、一般動詞の現在形 【思考力、判断力、表現力等】人々が季節に抱くイメージも、地域の特性が現れることを学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】地域による違いを知り、世界各地への文化の広がりについて考える。	・色の文化との結びつきや、世界各地への文化の広がりについて考えさせる。 ・be動詞や一般動詞の現在形を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。	○	○	○	○	○	【知識・技能】be動詞と一般動詞の現在形使い方を理解しているか。 【思考・判断・表現】春のイメージカラーの国による違いがあることを理解しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】色や春について積極的に発言しているか。	○	○	○	21
	単元:Dick Bruna 【知識及び技能】be動詞、一般動詞の過去形 【思考力、判断力、表現力等】ブルーナの絵の特徴を知る。 【学びに向かう力、人間性等】ブルーナの作品と人物について知る。	・芸術への理解を深める。また、ブルーナの活動から、社会貢献について考えさせる。 ・一般動詞の過去形では、語尾の形やその発音の違いに注意させる。	○	○	○	○	○	【知識・技能】be動詞と一般動詞の過去形の使い方を理解しているか。 【思考・判断・表現】ディック・ブルーナとその作品について理解しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】キャラクターや本について積極的に発言しているか。	○	○	○	21
2 学 期	単元:Interesting Sports 【知識及び技能】現在進行形、過去進行形 【思考力、判断力、表現力等】なじみのないスポーツに触れ、その楽しさを想像する。 【学びに向かう力、人間性等】スポーツの楽しさを再認識する。	・スポーツのおもしろさを再認識する。 ・進行形を用いる場面や動詞に注意させる。	○	○	○	○	○	【知識・技能】進行形の使い方を理解しているか。 【思考・判断・表現】スラックラインやバブルサッカーといったユニークな競技があることを理解しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】スポーツについて積極的に発言しているか。	○	○	○	24
	単元:Pictograms 【知識及び技能】助動詞、動名詞 【思考力、判断力、表現力等】ピクトグラムについて、身近にあるコミュニケーションの手段として考える。 【学びに向かう力、人間性等】国際社会で果たすピクトグラムの重要な役割について考える。	・国際社会におけるピクトグラムの役割を知る。 ・助動詞の意味の違いに注意させる。 動詞と動名詞の違いに注意させる。	○	○	○	○	○	【知識・技能】助動詞、動名詞の使い方を理解しているか。 【思考・判断・表現】オリンピック競技などに見られるピクトグラムの役割を理解しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】ジェスチャーについて積極的に発言しているか。	○	○	○	24
3 学 期	単元:We are Part of Nature 【知識及び技能】不定詞 【思考力、判断力、表現力等】岩合光昭氏の撮影の秘訣や自然への思いを考える。 【学びに向かう力、人間性等】岩合氏の活動を通して、職業への意識と自然環境について考える。	・世界で活躍する人物像を学ぶ。 また、自然環境について考えさせる。 ・不定詞の意味の使い分けに慣れさせる。	○	○	○	○	○	【知識・技能】不定詞の使い方を理解しているか。 【思考・判断・表現】岩合氏の写真の秘訣や自然への思いを理解しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】ポスターについて積極的に発言しているか。	○	○	○	27

科目 英語コミュニケーション

单位数： 3 单位

使用教科書：（ VISTA English Communication I ）

の目標：

【学びに向かう力、人間性等】生徒の段階に応じて自律的な学習のための支援を行い、主体的な学びを促進する。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ことば、文化、民族の多様性とその共存を国際理解の基本理念とし、国際感覚と国際協調の精神の育成を図る。	基本的な文法事項を使いながら、対話的な学びや深い学びを引き出す総合的かつ創造的な言語活動を目指す。	実際のコミュニケーションにおけるメッセージの役割の重要性を認識し、生徒が主体的に学ぼうとする姿勢を育てる。

[illegible]

令和5年度 年間授業計画

教科・科目	外国語・コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	2単位
教科書 (出版社)	Vista English Communication II New Edition (三省堂)	学 年	3 学年

学期	時間	授 業 内 容 (単 元)	重 点 項 目・評 価 の 観 点
一 学 期	2 8	Lesson 1 Birthdays, Here and There Lesson 2 The Emerald Isle	1. what(何を～するか)の表現を学ぶ。 2. 世界の誕生日の祝い方を理解 3. ～するかどうか=if ～を学ぶ。 4. what (～する物) について学ぶ 5. 形容詞の原級／比較級／最上級 6. アイルランドについて学ぶ 定期考査の成績、授業への取り組みの様子、課題の提出状況等
二 学 期	3 2	Lesson 3 The Sagrada Familia Lesson 4 The Nobel Prize Episodes	7. 名詞を修飾する分詞について学ぶ 8. サグラダ教会について学ぶ 9. 知覚動詞、tell～to do について学ぶ 10. ノーベル賞に関する知識を学ぶ 定期考査の成績、授業への取り組みの様子、課題の提出状況等
三 学 期	1 8	Lesson 5 Flowers in the Tomb	11. 使役動詞・関係代名詞・what 12. ツタンカーメン王の墓を発見したカーター博士の話から歴史の面白さを学ぶ 学習内容の達成状況により各学期の成績から総合的に判断して年間の評価とする

*授業は学期毎の予定に時間を示す（目安：1 学期 14 週、2 学期 16 週、3 学期 9 週）。

*授業内容は、生徒の理解度等に応じ計画と異なる場合があります。

令和5年度 年間授業計画

教科・科目	外国語・コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	2単位
教科書	Vista English CommunicationⅡ New Edition (三省堂)	学年	4 学年

学期	時間	授 業 内 容 (単 元)	重 点 項 目・評 価 の 観 点
一 学 期	28	Lesson 6 Becoming the Best Lesson 7 The Galapagos Islands	1. how to ～ it seems that 構文を学ぶ 2. 錦織選手について学ぶ 3. 面積の表現や比較級を学ぶ 4. 現在完了進行形・形式目的語it 5. ガラパゴス諸島について学ぶ 定期考査の成績、授業への取り組みの様子、課題の提出状況等
二 学 期	32	Lesson 8 Shodo, Old and New Lesson 9 Water World	1. 部分否定・can be doneを学ぶ 2. 書道について学ぶ 3. 病気を表す英語表現を学ぶ 1. 関係代名詞非制限用法・have been done 2. 水族館について学ぶ 定期考査の成績、授業への取り組みの様子、課題の提出状況等
三 学 期	18	Lesson10 A Long Friendship	1. 過去完了形・have been done・強調構文について学ぶ 2. 日本とトルコとの友好関係を学ぶ 定期考査の成績、授業への取り組みの様子、課題の提出状況等

*授業は学期毎の予定に時間を示す（目安：1 学期 14 週、2 学期 16 週、3 学期 9 週）。

*授業内容は、生徒の理解度等に応じ計画と異なる場合があります。

高等学校 令和5年度（1・2学年用）教科 理科 科目 科学と人間生活

教科：理科 科目：科学と人間生活 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～組

教科担当者：（A組：伊藤 直大）（組：）（組：）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（科学と人間生活（数研出版））

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】重要事項について正しく説明でき、実験を安全に行うことができる。

【思考力、判断力、表現力等】実験の結果を考察することができ、レポートで自分の意見・思考を表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】提出物を期限までに提出することができ、毎時の授業に前向きに取り組むことができる。

科目 科学と人間生活 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・各単元の重要語句について、正しく説明できる。	・各単元において、共通性という観点で分類分けをすることができる。	・レポートを期日までに提出することができる。
・各単元の実験において、器具を正しく用いることができる。	・実験後におけるレポートに自らの意見・思考を表現することができる。	・授業中の観察実験において興味、関心を自発的に持って最後まで取り組むことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元:材料とその再利用 【知識及び技能】 ・身の回りの物質について、材料の特徴を挙げることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・材料を分類分けすることができる。 ・実験を通して、自分の思考や意見を考察、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・興味、関心を自発的に持って取り組むことができる。	・観察実験において、各材料について、実際に触り、見てその違いについて考えさせる。 ・実験後、レポートを課し、期日前に提出させる。 （その際、添削を行い、必要に応じて再提出させる） ・必要に応じて、一人一台端末やTeamsを用いて、小テスト等を行い、基礎学力の定着を図る。	【知識・技能】 ・身の回りの物質について材料の観点から特徴を挙げられる。 【思考・判断・表現】 ・材料の観点から共通性をもって分類分けができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・レポートを期日までに提出することができる。 ・授業中の観察実験において興味、関心を自発的に持って最後まで取り組むことができる。	○	○	○	7
	単元:衣料と食品 【知識及び技能】 ・医療と食品について特徴を挙げることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・栄養素の観点からバランスのよい食事を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・興味、関心を自発的に持って取り組むことができる。	・観察実験において、各材料について、実際に触り、見てその違いについて考えさせる。 ・実験後、レポートを課し、期日前に提出させる。 （その際、添削を行い、必要に応じて再提出させる） ・必要に応じて、一人一台端末やTeamsを用いて、小テスト等を行い、基礎学力の定着を図る。	【知識・技能】 ・身の回りの衣料、食品の特徴を挙げられる。 【思考・判断・表現】 ・衣料を材料の観点から分類分けできる。 ・食品の栄養素の観点から、バランスの良い食事について考え、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・レポートを期日までに提出することができる。 ・授業中の観察実験において興味、関心を自発的に持って最後まで取り組むことができる。	○	○	○	7
	単元:ヒトの生命現象 【知識及び技能】 ・人体の構造と遺伝について説明できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・タンパク質の合成を推測できる。 ・実験を通して、自分の思考や意見を考察、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・興味、関心を自発的に持って取り組むことができる。	・観察実験において、各材料について、実際に触り、見てその違いについて考えさせる。 ・実験後、レポートを課し、期日前に提出させる。 （その際、添削を行い、必要に応じて再提出させる） ・必要に応じて、一人一台端末やTeamsを用いて、小テスト等を行い、基礎学力の定着を図る。	【知識・技能】 ・生物の遺伝について、科学的な視点で説明できる。 ・健康な状態について、科学的な視点で説明できる。 【思考・判断・表現】 ・タンパク質の合成を条件をもとに考えられる。 ・人間が不調になった際に必要な対処を科学的な視点で説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・レポートを期日までに提出することができ	○	○	○	10

2 学 期	単元：微生物とその利用 【知識及び技能】 ・微生物の種類を挙げられる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・発酵の観点から、食品を分類分けできる。 ・実験を通して、自分の思考や意見を考察、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・興味、関心を自発的に持って取り組むことができる。	・観察実験において、各材料について、実際に触り、見てその違いについて考えさせる。 ・実験後、レポートを課し、期日前に提出させる。 (その際、添削を行い、必要に応じて再提出させる) ・必要に応じて、一人一台端末やTeamsを用いて、小テスト等を行い、基礎学力の定着を図る。	【知識・技能】 ・微生物の種類について説明できる。 ・微生物の利用について例を挙げられる。 【思考・判断・表現】 ・微生物が身の回りにいることを、実験を通して考察できる。 ・発酵の観点から、食品を分類分けできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・レポートを期日までに提出することができる。 ・授業中の観察実験において興味、関心を自発的に持って最後まで取り組むことができ					10
	単元：光の性質と其の利用 【知識及び技能】 ・光という現象を科学的に説明できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・虹ができる理由を考察できる。 ・実験を通して、自分の思考や意見を考察、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・興味、関心を自発的に持って取り組むことができる。	・観察実験において、各材料について、実際に触り、見てその違いについて考えさせる。 ・実験後、レポートを課し、期日前に提出させる。 (その際、添削を行い、必要に応じて再提出させる) ・必要に応じて、一人一台端末やTeamsを用いて、小テスト等を行い、基礎学力の定着を図る。	【知識・技能】 ・光の色と波長の関係について説明できる。 ・波の現象について、身の回りの例を挙げられる。 【思考・判断・表現】 ・屈折と分散について、実験を通して考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・レポートを期日までに提出することができる。 ・授業中の観察実験において興味、関心を自発的に持って最後まで取り組むことができ					12
	単元：熱の性質と其の利用 【知識及び技能】 ・エネルギーの種類を挙げられる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・発電方法について利点、欠点を考察できる。 ・実験を通して、自分の思考や意見を考察、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・興味、関心を自発的に持って取り組むことができる。	・観察実験において、各材料について、実際に触り、見てその違いについて考えさせる。 ・実験後、レポートを課し、期日前に提出させる。 (その際、添削を行い、必要に応じて再提出させる) ・必要に応じて、一人一台端末やTeamsを用いて、小テスト等を行い、基礎学力の定着を図る。	【知識・技能】 ・温度ついて、科学的な視点から説明できる。 ・エネルギーの種類について例を挙げられる。 【思考・判断・表現】 ・エネルギーの変換について、保存則について考察できる。 ・発電方法について、利点、欠点を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・レポートを期日までに提出することができ					10
3 学 期	単元：太陽と地球 【知識及び技能】 ・気象現象と天体の運動について説明できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・災害が起こる理由から、対策を考察できる。 ・実験を通して、自分の思考や意見を考察、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・興味、関心を自発的に持って取り組むことができる。	・観察実験において、各材料について、実際に触り、見てその違いについて考えさせる。 ・実験後、レポートを課し、期日前に提出させる。 (その際、添削を行い、必要に応じて再提出させる) ・必要に応じて、一人一台端末やTeamsを用いて、小テスト等を行い、基礎学力の定着を図る。	【知識・技能】 ・気象現象が起こる理由を説明できる。 ・天体の運動について説明できる。 【思考・判断・表現】 ・災害が起こる時期と理由から、対策を考察できる。 ・天体の運動と現象の関係性を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・レポートを期日までに提出することができる。 ・授業中の観察実験において興味、関心を自発的に持って最後まで取り組むことができ					10
	単元：自然景観と自然災害 【知識及び技能】 ・災害の種類と、起こる現象について考察できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地震についての対策や防災案を考察できる。 ・実験を通して、自分の思考や意見を考察、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・興味、関心を自発的に持って取り組むことができる。	・観察実験において、各材料について、実際に触り、見てその違いについて考えさせる。 ・実験後、レポートを課し、期日前に提出させる。 (その際、添削を行い、必要に応じて再提出させる) ・必要に応じて、一人一台端末やTeamsを用いて、小テスト等を行い、基礎学力の定着を図る。	【知識・技能】 ・地震が起こる理由について説明できる。 ・自然景観と災害について説明できる。 【思考・判断・表現】 ・地震が起こりやすい地域について考察し、対策や防災案を考えることができる。 ・自然景観の保護について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・レポートを期日までに提出することができる。 ・授業中の観察実験において興味、関心を自発的に持って最後まで取り組むことができ					12
								合計
								78

高等学校 令和5年度（1・2学年用） 教科 理科 科目 生物基礎

教科 理科 科目 生物基礎 単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ 組

教科担当者：（A組：伊藤直大） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）

使用教科書：（ 高校 生物基礎（実教出版） ）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】重要事項について正しく説明でき、実験を安全に行うことができる。

【思考力、判断力、表現力等】実験の結果を考察することができ、レポートで自分の意見・思考を表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】提出物を期限までに提出することができ、毎時の授業に前向きに取り組むことができる。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・各単元の重要語句について、正しく説明できる。 ・各単元の実験において、器具を正しく用いることができる。	・各単元において、共通性という観点で分類わけをすることができる。 ・実験後におけるレポートに自らの意見・思考を表現することができる。	・レポートを期日までに提出することができる。 ・授業中の観察実験において興味、関心を自発的に持って最後まで取り組むことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元:生物の多様性と共通性 【知識及び技能】 ・数種類の生物の共通性について挙げることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生物の共通性と多様性について、例を挙げて説明することができる。 ・実験を通して、自分の思考や意見を考察、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・興味、関心を自発的に持って取り組むことができる。	・観察実験において、各材料について、実際に触り、見てその違いについて考えさせる。 ・実験後、レポートを課し、期日前に提出させる。 （その際、添削を行い、必要に応じて再提出させる） ・必要に応じて、一人一台端末やTeamsを用いて、小テスト等を行い、基礎学力の定着を図る。	【知識・技能】 ・数種類の生物の共通性について挙げることができる。 【思考・判断・表現】 ・生物の多様性と共通性について、根拠と例をもって説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・レポートを期日までに提出することができる。 ・授業中の観察実験において興味、関心を自発的に持って最後まで取り組むことができる。	○	○	○	8
	単元:生物とエネルギー 【知識及び技能】 ・生物のエネルギーに関わる反応、物質について挙げることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生物のエネルギーの流れについて、考察し説明することができる。 ・実験を通して、自分の思考や意見を考察、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・興味、関心を自発的に持って取り組むことができる。	・観察実験において、各材料について、実際に触り、見てその違いについて考えさせる。 ・実験後、レポートを課し、期日前に提出させる。 （その際、添削を行い、必要に応じて再提出させる） ・必要に応じて、一人一台端末やTeamsを用いて、小テスト等を行い、基礎学力の定着を図る。	【知識・技能】 ・生物のエネルギーに関わる反応、物質について挙げることができる。 【思考・判断・表現】 ・生物のエネルギーの流れについて、説明することができる。 ・生物のエネルギー運搬について、考察し、適切に説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・レポートを期日までに提出することができる。 ・授業中の観察実験において興味、関心を自発的に持って最後まで取り組むことができる。	○	○	○	10
	単元:遺伝情報とDNA 【知識及び技能】 ・遺伝子を構成する物質について、説明することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・遺伝子の複製と分配について、例を挙げて説明することができる。 ・実験を通して、自分の思考や意見を考察、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・興味、関心を自発的に持って取り組むことができる。	・観察実験において、各材料について、実際に触り、見てその違いについて考えさせる。 ・実験後、レポートを課し、期日前に提出させる。 （その際、添削を行い、必要に応じて再提出させる） ・必要に応じて、一人一台端末やTeamsを用いて、小テスト等を行い、基礎学力の定着を図る。	【知識・技能】 ・遺伝子を構成する物質について、説明することができる。 【思考・判断・表現】 ・遺伝子の複製と分配について、一連の流れを説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・レポートを期日までに提出することができる。 ・授業中の観察実験において興味、関心を自発的に持って最後まで取り組むことができる。	○	○	○	11
	単元:遺伝情報とタンパク質の合成 【知識及び技能】 ・塩基配列の例から、合成されるタンパク質を推測することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・遺伝子暗号表から、目的のタンパク質を作る場合の遺伝子配列を自分で説明することができる。 ・実験を通して、自分の思考や意見を考察、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・興味、関心を自発的に持って取り組むことができる。	・観察実験において、各材料について、実際に触り、見てその違いについて考えさせる。 ・実験後、レポートを課し、期日前に提出させる。 （その際、添削を行い、必要に応じて再提出させる） ・必要に応じて、一人一台端末やTeamsを用いて、小テスト等を行い、基礎学力の定着を図る。	【知識・技能】 ・塩基配列の例から、合成されるタンパク質を推測できる。 【思考・判断・表現】 ・遺伝子暗号表から、目的のタンパク質を作る場合の遺伝子配列を自分で説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・レポートを期日までに提出することができる。 ・授業中の観察実験において興味、関心を自発的に持って最後まで取り組むことができる。	○	○	○	10

2 学 期	単元:体内環境 【知識及び技能】 ・体液の種類と成分、その働きを挙げることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・体液の働きから生じる恒常性について説明することができる。 ・実験を通して、自分の思考や意見を考察、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・興味、関心を自発的に持って取り組むことができる。	・観察実験において、各材料について、実際に触り、見てその違いについて考えさせる。 ・実験後、レポートを課し、期日前に提出させる。 （その際、添削を行い、必要に応じて再提出させる） ・必要に応じて、一人一台端末やTeamsを用いて、小テスト等を行い、基礎学力の定着を図る。	【知識・技能】 ・体液の種類と成分、その働きを挙げることができる。 【思考・判断・表現】 ・体内環境の恒常性について、根拠と例をもって説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・レポートを期日までに提出することができる。 ・授業中の観察実験において興味、関心を自発的に持って最後まで取り組むことができる。	○	○	○	10
	単元:体内環境の維持としくみ 【知識及び技能】 ・ホルモンの種類を、情報伝達の観点から例を挙げて説明することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・交感神経と副交感神経について、例を挙げて説明することができる。 ・実験を通して、自分の思考や意見を考察、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・興味、関心を自発的に持って取り組むことができる。	・観察実験において、各材料について、実際に触り、見てその違いについて考えさせる。 ・実験後、レポートを課し、期日前に提出させる。 （その際、添削を行い、必要に応じて再提出させる） ・必要に応じて、一人一台端末やTeamsを用いて、小テスト等を行い、基礎学力の定着を図る。	【知識・技能】 ・ホルモンの種類と働きについて、情報伝達の観点から説明することができる。 【思考・判断・表現】 ・交感神経と副交感神経の働きについて、例を挙げて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・レポートを期日までに提出することができる。 ・授業中の観察実験において興味、関心を自発的に持って最後まで取り組むことができる。	○	○	○	12
	単元:免疫 【知識及び技能】 ・免疫に関与する物質の種類と働きを例を挙げて説明することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自然免疫と獲得免疫のしくみについて、違いを明らかにして説明することができる。 ・実験を通して、自分の思考や意見を考察、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・興味、関心を自発的に持って取り組むことができる。	・観察実験において、各材料について、実際に触り、見てその違いについて考えさせる。 ・実験後、レポートを課し、期日前に提出させる。 （その際、添削を行い、必要に応じて再提出させる） ・必要に応じて、一人一台端末やTeamsを用いて、小テスト等を行い、基礎学力の定着を図る。	【知識・技能】 ・免疫に関与する物質の種類と働きを例を挙げて説明することができる。 【思考・判断・表現】 ・自然免疫と獲得免疫のしくみについて、違いを明らかにして説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・レポートを期日までに提出することができる。 ・授業中の観察実験において興味、関心を自発的に持って最後まで取り組むことができる。	○	○	○	11
	単元:生態系とその成り立ち 【知識及び技能】 ・生態系における植生と遷移の働きを説明することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生物的環境と非生物的環境の違いを説明することができる。 ・実験を通して、自分の思考や意見を考察、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・興味、関心を自発的に持って取り組むことができる。	・観察実験において、各材料について、実際に触り、見てその違いについて考えさせる。 ・実験後、レポートを課し、期日前に提出させる。 （その際、添削を行い、必要に応じて再提出させる） ・必要に応じて、一人一台端末やTeamsを用いて、小テスト等を行い、基礎学力の定着を図る。	【知識・技能】 ・生態系における植生と遷移の働きを説明することができる。 【思考・判断・表現】 ・生物的環境と非生物的環境の違いを説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・レポートを期日までに提出することができる。 ・授業中の観察実験において興味、関心を自発的に持って最後まで取り組むことができる。	○	○	○	14
	単元:植生とバイオーム 【知識及び技能】 ・バイオームについて、種類を挙げて説明することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本のバイオームと世界のバイオームの違いについて、例を挙げて説明することができる。 ・実験を通して、自分の思考や意見を考察、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・興味、関心を自発的に持って取り組むことができる。	・観察実験において、各材料について、実際に触り、見てその違いについて考えさせる。 ・実験後、レポートを課し、期日前に提出させる。 （その際、添削を行い、必要に応じて再提出させる） ・必要に応じて、一人一台端末やTeamsを用いて、小テスト等を行い、基礎学力の定着を図る。	【知識・技能】 ・バイオームについて、種類を挙げて説明することができる。 【思考・判断・表現】 ・日本のバイオームと世界のバイオームの違いについて、例を挙げて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・レポートを期日までに提出することができる。 ・授業中の観察実験において興味、関心を自発的に持って最後まで取り組むことができる。	○	○	○	10
	単元:生態系と生物の多様性 【知識及び技能】 ・生物のかかわりにおいて起こりうる現象の種類を挙げて説明することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・食物連鎖の観点から生物と生物のつながりについて例を挙げて説明することができる。 ・実験を通して、自分の思考や意見を考察、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・興味、関心を自発的に持って取り組むことができる。	・観察実験において、各材料について、実際に触り、見てその違いについて考えさせる。 ・実験後、レポートを課し、期日前に提出させる。 （その際、添削を行い、必要に応じて再提出させる） ・必要に応じて、一人一台端末やTeamsを用いて、小テスト等を行い、基礎学力の定着を図る。	【知識・技能】 ・生物のかかわりにおいて起こりうる現象の種類を挙げて説明することができる。 【思考・判断・表現】 ・食物連鎖の観点から生物と生物のつながりについて例を挙げて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・レポートを期日までに提出することができる。 ・授業中の観察実験において興味、関心を自発的に持って最後まで取り組むことができる。	○	○	○	10
	単元:生態系のバランスと保全 【知識及び技能】 ・人間生活が及ぼす環境への影響を例を挙げて説明することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生態系の保全の重要性を危険度を視野に入れて説明することができる。 ・実験を通して、自分の思考や意見を考察、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・興味、関心を自発的に持って取り組むことができる。	・観察実験において、各材料について、実際に触り、見てその違いについて考えさせる。 ・実験後、レポートを課し、期日前に提出させる。 （その際、添削を行い、必要に応じて再提出させる） ・必要に応じて、一人一台端末やTeamsを用いて、小テスト等を行い、基礎学力の定着を図る。	【知識・技能】 ・人間生活が及ぼす環境への影響を例を挙げて説明することができる。 【思考・判断・表現】 ・生態系の保全の重要性を危険度を視野に入れて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・レポートを期日までに提出することができる。 ・授業中の観察実験において興味、関心を自発的に持って最後まで取り組むことができる。	○	○	○	11
							合計
							117

令和4年度 年間授業計画

教科・科目	理科・化学基礎	単位数	3 単位
教科書 (出版社)	改訂版 新編 化学基礎 (数研出版)	学年	3 学年

学期	時間	授業内容 (単元)	重点項目・評価の観点
一学期	4 2	○化学と人間生活 ○物質の構成 ・物質の性質と分離 ・物質の成分 ○物質の構成粒子 ・原子の構造 ・電子配置と周期表 ○粒子の結合 ・イオンとイオン結合 ・金属と金属結合	・化学がどのように人間生活に関わっているか例を挙げて説明できる。 ・成分の特徴にあった分離方法を説明出来る。 ・原子の構造を理解し、電子配置と周期表の関係性を理解する。 ・イオンの成り立ちからイオン結合までを理解し、イオン結晶の特徴を理解する。 ・金属の特徴と金属結合を理解する。 【評価について】 平常点・考査得点・ノート提出の総合評価
二学期	4 8	・分子と共有結合 ○物質と化学反応式 ・原子量、分子量と物質質量 ・化学変化の量的関係 ○酸と塩基 ・酸と塩基 ・水素イオン濃度とpH ・中和反応と塩の生成 ・中和反応の量的関係と中和滴定	・分子と共有結合の特徴を理解する。 ・物質を質量を理解し、化学変化における量的関係を理解する。 ・酸と塩基の特徴、性質を理解する。 ・pHの定義を学び実際にpHを計算できる。 ・中和反応によってできる塩を理解し量的関係と中和滴定の方法を理解する。 【評価について】 平常点・考査得点・ノート提出の総合評価
三学期	2 7	○酸化と還元 ・酸化と還元 ・酸化還元反応の利用	・酸化と還元の定義を理解する。 ・酸化還元反応が身の周りにどのように利用されているか理解する。 【評価について】 平常点・考査得点・ノート提出の総合評価

* 授業は学期毎の予定に時間を示す(目安:1 学期 1 4 週、2 学期 1 6 週、3 学期 9 週)。

* 授業内容は、生徒の理解度等に応じ計画と異なる場合があります。

令和4年度 年間授業計画

教科・科目	理科・物理基礎	単位数	2単位
教科書 (出版社)	改訂版 新編 物理基礎 (数研出版)	学 年	4 学年

学期	時間	授 業 内 容 (単 元)	重 点 項 目・評 価 の 観 点
一 学 期	28	○運動とエネルギー ・直線運動の世界 ・力と運動の法則 ・日常に潜む力	・速さと速度を学び、直線運動ではどのような特徴があるか理解して計算できる。 ・力と運動の関係性を学び、運動の第1法則～第3法則までを理解する。 ・身の周りに潜む力に気付き、理解する。 【評価について】 平常点・考査得点・ノート提出の総合評価
二 学 期	32	・仕事とエネルギー ○様々な物理現象とエネルギー ・熱 ・波	・仕事とエネルギーの関係性を学び、力学的エネルギー保存の法則を理解し計算できる。 ・温度、熱、エネルギー、仕事の関係性を理解し身の周りの現象と関連付ける。 ・様々な波の性質を学び、音との関係性を理解する。 【評価について】 平常点・考査得点・ノート提出の総合評価
三 学 期	18	・電気 ・エネルギーの利用	・電気のはたらきを学び、電力と電力量を理解する。 ・様々なエネルギーがあることを学びエネルギーの変化や利用の仕方を理解する。 【評価について】 平常点・考査得点・ノート提出の総合評価

*授業は学期毎の予定の時間を示す（目安：1学期14週、2学期16週、3学期9週）。

*授業内容は、生徒の理解度等に応じ計画と異なる場合があります。

高等学校 令和5年度（1・2学年用） 教科 公民 科目 公共

教 科： 公民 科 目： 公共 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ 組

教科担当者：（A組：向井将之）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ 高等学校 新公共 第一学習社 ）

教科 公民 の目標：
【知識及び技能】政治・経済・倫理などに関わる現代社会の諸課題、その解決のための必要な概念や理論について理解するとともに、様々な諸課題を解決するための選択・判断の手掛かりにできる程度まで身につける。
【思考力、判断力、表現力等】現代社会における様々な諸課題について、事実や諸資料をもとに多面的・多角的に考察し、解決に向け客観的、論理的に思考、判断し、社会の一員としての意見をわかりやすく表明する。
【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を、多面的・多角的な考察や深い理解を通して主体的に解決しようとする態度や主権者である国民として、個人の尊厳及び平和の実現のために、協力し合う姿勢や自覚をもつ。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・様々な資料を読み、解釈し、現代社会の諸課題について、教科書を活用しながら、様々な情報源から得られる知識を踏まえて考察できるレベルまで身につける。 ・現代の諸課題をとらえ考察し、選択・判断するための基礎となる概念や理論について理解し、それを活用できるレベルまで身につける。	・現代社会の諸課題の解決に向けて、事実、資料を本に多角的に考察し、自分の問題として考え意見をまとめ、討論する。 ・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の基礎となる考え方や社会にある原理・原則・法則などを活用して、考え、自分の言葉で、意見を述べることができる。	・不確実な時代背景を踏まえて、次の社会を予測し、次の社会をよりよくする姿勢をもって、国家社会の一員として、主体的に考え解決しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元:公共的な空間を作る私たち ・公共的な空間と私たちについて考えるのに必要な概念や理論について理解している。 ・公共的な空間と私たちについて考えるのに必要な概念や理論をもとに課題を考え、解決策を導き出し、自分の言葉で表現する。 ・公共的な空間と私たちについて自らの問題として考え、解決策を主体的に引き出そうとする。	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間を作る私たち I 公共的な空間と人間とのかかわり 1 社会に生きる私たち 2 個人の尊厳と自主・自律 3 多様性と共通性 4 キャリア形成と自己実現 II 社会に参画する自立した主体として 1 伝統と文化とのかかわり	【知識・技能】 ・自分自身が自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが、自らのキャリア形成と共に、よりよい社会の形成に結び付くことについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性などに着目して考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・公共的な空間をつくる私たちについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	4
	単元:公共的な空間における人間としての在り方生き方 ・公共的な空間における人間としての生き方あり方についての環境、倫理等の概念や理論について理解している。 ・公共的な空間における人間としての生き方あり方についての環境、倫理等の概念や理論をもとに課題を考え、解決策を導き出し、自らの言葉で表現する。 ・公共的な空間における人間としての生き方あり方について、環境、倫理等を主題として、積極的に取り組み、主体的に解決策を引き出そうとする。	第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方 I 人間としての在り方生き方についての探求 1 人間と社会の在り方についての見方・考え方 2 実社会の事例から考える～環境保護 3 実社会の事例から考える～生命倫理 II 選択・判断の手掛かりとなる倫理的価値 1 公共的な空間を形成するための考え方 2 よりよく生きる行為者として活動するために	【知識・技能】 ・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・幸福・正義・構成などに着目して考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・公共的な空間でどのように生きるかについて、先哲の生き方などを参考に人間としての在り方生き方について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	単元:公共的な空間における基本原理 ・個人の尊厳や近代憲法思想法理等を題材として、その概念や理論について理解している。 ・個人尊厳や近代憲法思想や法理等を題材として得た知識等を基礎にして、課題を考え、解決策を導き出し、自らの言葉で表現する。 ・個人の尊厳や近代憲法思想や法理等について、積極的に取り組み、主体的に解決策を引き出そうとする。	第3章 公共的な空間における基本原理 I 自立した主体となることに向けて 1 人間の尊厳と平等 2 個人の尊厳 3 民主政治の基本原理 4 法の支配 5 自由・権利と責任・義務 II よりよい公共的な空間づくりを目指して 1 世界の主な政治体制 2 日本国憲法に生きる基本的原理	【知識・技能】 ・人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本原理について理解している。 【思考・判断・表現】 ・公共的な空間における基本原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会とのかかわりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・公共的な空間にける基本原理と日本国憲法の基本的原則を関連させながら、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	5
	単元:自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち ・公法・私法などの法規範についての概念や理論について理解している。 ・公法・私法などの法規範についての概念や理論について得た知識等を基礎にして、課題を考え、解決策を導き出し、自らの言葉で表現する。 ・公法・私法などの法規範についての概念を理解したり、課題解決に積極的に取り組み、主体的に解決しようとする。	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち 主題1 法や規範の意義と役割 1 私たちの生活と法 2 法と基本的人権 3 自由、平等と法と規範 4 法をよりよく変えていくために 主題2 契約と消費者の権利・責任 1 さまざまな契約と法 2 消費者の権利と責任 主題3 司法参加の意義 1 裁判所と人権保障	【知識・技能】 ・基本的人権が保障されるように至った経緯を現実社会の諸課題に関わる諸資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・法や規範の意義と役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1

2 学 期	単元:政治的な主体となる私たち ・政治参加と公正な世論について課題を理解し、考えるための基礎となる概念や理論を理解している。また、国際社会と日本の在り方について、国際法の視点、平和主義の視点、現在の国際社会の問題という視点から理解し、課題を解決するのに必要な概念や理論を理解している。 ・政治参加と公正な世論について身につけた理論や概念を基礎として、課題を考え、解決し、自らの言葉で表現できる。 ・国際社会と日本の在り方について、国際法の視点、平和主義の視点、現在の国際社会の問題という視点から、課題を考え、解決しようと積極的、主体的に取り組める。	第2章 政治的な主体となる私たち 主題 4 政治参加と公正な世論の形成 1 選挙の意義と課題 2 政治参加と世論形成 3 国会と立法 4 内閣と行政の民主化 5 地方自治と住民の福祉 主題 5 国際社会と国家主権 1 国家と国際法 2 国境と領土問題 3 国際連合の役割と課題 主題 6 日本の安全補保障 1 平和主義と安全保障 2 核廃絶と国際平和 主題 7 国際社会の変化と日本の役割 1 今日の国際社会 2 人種・民族問題と地域紛争 3 国際社会における日本の役割	【知識・技能】 ・政治参加と公正な世論形成に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・国際社会と国家主権に関わる現自治社会の事柄や課題を理解している。 【思考・判断・表現】 ・日本国憲法の平和主義を踏まえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的、多角的に考察し、表現している。 ・変化する国際情勢の中で、日本に安全が世界の平和の維持と以下に関連しているか、広い視点に立って理解し、様々な観点から考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国際平和の実現について、自分自身の問題として理解し、解決するための具体的な行動をとっている。 ・政治参加と公正な世論形成について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	単元:経済的な主体となる私たち ・経済的な主体となる自らについて、雇用、職業観、市場経済、金融、財政、国際経済といった各視点についての課題を理解し、考えるための基礎となる概念や理論を理解している。 ・経済的な主体となる自らについて、雇用、職業観、市場経済、金融、財政、国際経済といった各視点について身につけた理論や概念を基礎として、課題を考え、解決し、自らの言葉で表現できる。 ・経済的な主体となる自らについて、雇用、職業観、市場経済、金融、財政、国際経済といった各視点について、課題を考え、解決しようと積極的、主体的に取り組める。	第3章 経済的な主体となる私たち 主題 8 雇用と労働問題 1 私たちと経済 2 労働者の権利と労働問題 主題 9 社会の変化と職業観 1 技術革新の進展と産業構造の変化 2 企業の活動 3 農林水産業の現状とこれから 主題10 市場経済の機能と限界 1 市場経済と経済運営 2 市場経済のしくみ 3 経済発展と環境保全 4 経済成長と国民福祉 主題 1 1 金融の働き 1 金融の意義と役割 主題 1 2 財政の役割と社会保障 1 政府の経済的役割と租税の意義 2 社会保障と国民福祉 主題 1 3 経済のグローバル化 1 国際分業と国際貿易体制 2 国際収支と為替相場 3 経済のグローバル化と日本 4 地域経済統合の動き 5 国際社会における貧困や格差 6 地球環境問題 7 資源・エネルギー問題	【知識・技能】 ・企業・家計と政府の3つの経済主体を考え、経済的な主体となる私たちは、どのように経済活動に参加しているのか、理解している。 ・企業の働きと社会的責任について、理解している。 市場経済の機能と限界に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 【思考・判断・表現】 ・自律した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実をもとに協議し考察したり構想したりしたことを論拠をもって表現している。 ・財政の意義、日本の財政の課題を理解し、財政の仕組み、租税の意義と課題について、具体的に事例を挙げて考察、構想し、主体的に考えている。 ・起用と労働問題について、日本的雇用慣行の崩れなど、現代の諸課題を主体的に考察し、構想し、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・財政の役割と社会保障について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・金融の働きについて、現代の諸課題を主観的に取り組もうとしている。 ・市場経済の機能と限界について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3 学 期	単元:持続可能な社会づくりの主体となる私たち ・持続可能な社会づくりの主体となる自らについて、地球環境、資源・エネルギー問題、生命倫理、情報、国際社会の課題などの各視点についての課題を理解し、考えるための基礎となる概念や理論を理解している。 ・持続可能な社会づくりの主体となる自らについて、地球環境、資源・エネルギー問題、生命倫理、情報、国際社会の課題などの各視点について身につけた理論や概念を基礎として、課題を考え、解決し、自らの言葉で表現できる。 ・持続可能な社会づくりの主体となる自らについて、地球環境、資源・エネルギー問題、生命倫理、情報、国際社会の課題などの各視点について、課題を考え、解決しようと積極的、主体的に取り組める。	第3篇 持続可能な社会づくりの主体となる私たち ①地球環境問題～排出量取引を考える ②資源・エネルギー問題～ベクトミックスを考える ③生命倫理～ゲノム編集を考える ④情報～インターネットによる投票を考える ⑤国際社会の課題～フェアトレードを考える	【知識・技能】 ・地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命倫理、情報、国際社会の課題に関して、これまで学んだ内容や課題を解決するための知識を理解している。 【思考・判断・表現】 ・課題の解決に向けて事実をもとに協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性など指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・若大の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

合計

57

高等学校 令和5年度（1・2学年用）教科 地理歴史 科目 地理総合

教科 地理歴史 科目 地理総合

単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ 組

教科担当者：（A組：向井将之）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（地理総合（東京書籍）、新詳高等地図（帝国書院））

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを、効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本人としての自覚が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球の課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
1 学 期	第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第1章 私たちが暮らす世界 【知識及び技能】世界地図や地球儀での表現方法ならびに日本の位置や領域についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付け、また、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択する力を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】地球上の位置に関する事柄について、緯度・経度や世界地図・地球儀や領域の特徴をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】地球上の位置に関する事柄に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究しようとする力を身に付けさせる。	1 緯度・経度 【24時間、地球は眠らない。】 2 地球儀と世界地図 【丸い地球を、平らな紙に正しく描けるだろうか。】 3 日本の位置と領域 【小さな島が、大きな意味をもつのはなぜ？】	【知識・技能】・世界地図や地球儀での表現方法ならびに日本の位置や領域についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 【思考・判断・表現】・地球上の位置に関する事柄について、緯度・経度や世界地図・地球儀や領域の特徴をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】・地球上の位置に関する事柄に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	5
	第1編第2章地図や地理情報システムの役割 【知識・技能】地図についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けさせ。 【思考・判断・表現】さまざまな地図について、縮尺・媒体・用途などに着目し、適切に整理し、さまざまな統計数値を、適切な主題図で表現する力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】紙の地図やGISに対する関心を高め、閲覧や作業を通して、それらの特徴をとらえる力を身に付ける。	4 地図の種類 【地図を使わない人は、ほとんどいない。】 5 地形図のルール 【地形や土地利用の歴史がひと目でわかる。】 6 主題図の種類と読み取り 【このテーマ、どんな地図で表すべきか。】 7 地理情報システムと地図 【地図の可能性は、まだまだ広がる。】	【知識・技能】・地図についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 【思考・判断・表現】・さまざまな地図について、縮尺・媒体・用途などに着目し、適切に整理している。・さまざまな統計数値を、適切な主題図で表現している。・GISを操作し、計測結果や主題図を表示している。 【主体的に学習に取り組む態度】・紙の地図やGISに対する関心を高め、閲覧や作業を通して、それらの特徴をとらえようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	第1編第3章資料から読み取る現代世界 【知識及び技能】交通・通信技術の発展と国境をこえたさまざまな結び付きについて、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けさせ。また、モノ・情報の移動、世界の国家群などについて、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめる力を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】交通・情報通信が国境をこえて結び付き、その結び付きがますます強固になっていることについて、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】交通・通信の発達による社会の変化と、それとともに起こるようになった諸問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究する意欲を身に付けさせる。	8 交通の発達 【地球は、どんどん小さくなっている？】 9 情報通信の発達 【世界中が、ネットでつながりはしたけれど、】 10 国境をこえる人々の移動 【仕事に、旅行に。人々は外国をめざす。】 11 拡大する貿易 【国どうしの貿易は、どう変化しているのか。】 12 つながる世界、多極化する世界 【国どうしの結び付きで、世界はどこに向かう？】	【知識・技能】・交通・通信技術の発展と国境をこえたさまざまな結び付きについて、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。・交通・通信の利用・整備の状況や国境をこえた人・モノ・情報の移動、世界の国家群などについて、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 【思考・判断・表現】・交通・情報通信が国境をこえて結び付き、その結び付きがますます強固になっていることについて、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】・交通・通信の発達による社会の変化と、それとともに起こるようになった諸問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	8
	第2編第1章人々の生活文化と多様な地理的環境 【知識及び技能】世界にみられる多様な文化について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付け、また、諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取る力を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】地域の文化や人々の暮らし、産業の違いを、それぞれの地域の自然環境との関連に着目しながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】さまざまな自然環境に対応した人々の生活や産業の工夫について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究させる。	(1節 生活文化の多様性と国際理解) 13 文化の地域性と多様性 【肉じゃがといえば？「牛肉だ!」「豚肉だ!」】 14 宗教と人々の暮らし 【宗教に根ざした、習慣や文化がある。】 (2節 生活文化と自然環境①地形) 15 山地の暮らし 【山に住むには、どんな工夫が必要なのか。】 16 平野の暮らし 【流れる川が、地形を変えていく。】 17 海岸の暮らし 【さまざまな海岸と、そこでの暮らしとは。】 (3節 生活文化と自然環境②気候)	【知識・技能】・世界にみられる多様な文化について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 【思考・判断・表現】・世界各地で多様な地形や気候・植生がみられることについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。・地域の文化や人々の暮らし、産業の違いを、それぞれの地域の自然環境との関連に着目しながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】・文化の多様性と異なる文化の理解や共存に関して関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。・さまざまな自然環境に対応した人々の生活や産業の工夫について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1

2 学 期		18 多様な気候とその分布 【なぜこれほど違う？暑さ，寒さ，雨の量。】 19 熱帯の人々の暮らし 【強い日差しと激しい雨。人の暮らしと農業は？】 20 乾燥帯の人々の暮らし 【雨が少ない！どうやって水を得る？】 21 温帯の人々の暮らし 【クーラー不要の地域からストーブ不要の地域まで。】 22 亜寒帯・寒帯の人々の暮らし 【長い冬を過ごすための食料や，町の工夫とは。】 23 食生活と農業の分布 【人の食生活は，気候だけで決まるのだろうか。】 24 工場立地の変化 【工場は，どんな理由でどんな場所に建つか。】 25 商業立地と人々の生活 【売り方も，買い方も，社会とともに変化する。】 26 情報産業の発達と生活文化の変化 【ものづくりも働き方も，ICTが変えていく。】		○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	第2編第2章さまざまな地球の課題と国際協力 【知識及び技能】さまざまな要因がからむ地球的な課題についての基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。また，諸資料を収集・選択して，読み取る力を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】地球的な課題について，地域性や歴史的背景，日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現する力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】各国の社会状況にあった具体的な解決が求められる地球的な課題に対する関心を高め，それらを意欲的に追究する意欲をもたせる。	(1節 地球環境問題) 27 地球環境問題(1) 【大気と海に，何が起きているのだろう。】 28 地球環境問題(2) 【森林減少と砂漠化，その原因を探る。】 (2節 資源・エネルギー問題) 29 資源・エネルギーの偏在 【誰もが，欲しがらる。だから，取り合いに。】 30 化石燃料から再生可能エネルギーへ 【地球を，「電池切れ」にさせないために。】 (3節 人口問題) 31 発展途上国の人口問題 【人が増えたのはなぜ？何が問題なのだろう。】 32 先進国の人口問題 【若者が減り，高齢者が増えるとうるなる？】 (4節 食料問題) 33 食料需給をめぐる問題 【増産しても，まだ足りない。なぜだろう。】 (5節 居住・都市問題) 34 発展途上国の居住・都市問題 【人は，何を求めて都市に向かうのか。】 35 先進国の居住・都市問題 【なぜ，再開発が必要なのか。】 (6節 民族問題) 36 民族問題・難民問題 【くり返す対立で，国を追われる人々がいる。】 (7節 持続可能な社会の実現をめざして) 37 地球の課題と国際協力 【グローバルな課題を，解きほぐす糸口とは。】	【知識・技能】さまざまな要因がからむ地球的な課題についての基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。また，地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表にまとめたりしている。 【思考・判断・表現】地球的な課題について，地域性や歴史的背景，日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】各国の社会状況にあった具体的な解決が求められる地球的な課題に対する関心を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。	○	○	○	16
	第3編第1章自然環境と防災 【知識及び技能】変化に富んだ日本列島の自然環境，大きな被害をもたらす自然災害について，基本的な事柄と追究の方法を理解し，その知識を身に付け，また，諸資料から有用な情報を選択する力を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】日本列島の地形や気候と自然災害について，地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現する力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】日本列島の豊かな自然環境と近年増大している自然災害に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究する姿勢を身に付けさせる。	(1節 日本の自然環境の特色) 38 日本の地形の特色 【火山や，流れの速い川。日本は動き続けている。】 39 日本の気候の特色 【四季ある国の，季節ごとの天候は？】	【知識・技能】・変化に富んだ日本列島の自然環境，大きな被害をもたらす自然災害について，基本的な事柄と追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。・地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 【思考・判断・表現】・日本列島の地形や気候と自然災害について，地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。・日本列島のさまざまな自然災害と防災対策について，地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】・日本列島の豊かな自然環境と近年増大している自然災害に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。・深刻な日本列島の自然災害と防災に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1

3 学 期		(2節 さまざまな自然災害と防災) 40 地震災害・津波災害(1) 【地震が発生するメカニズムとは。】 41 地震災害・津波災害(2) 【くり返す地震を、災害史から学ぶ。】 42 火山の災害とめぐみ 【火山をよく知り、共存していくために。】 43 気象災害(1) 寒さ・暑さと台風 【雪、猛暑、水不足、台風。どんな被害をもたらす？】 44 気象災害(2) 大雨と洪水・土砂災害 【大雨で、あふれる水。何が起こるのだろうか。】 45 都市と自然災害 【都市を襲う災害、危険はどこにある？】 46 防災・減災と復旧・復興 【地域を災害から守るため いま、できることは？】		○	○	○	12
	第3編第2章生活圏の調査と地域の展望 【知識及び技能】地域調査の手順や注意すべきことを理解し、また、諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめた力する力を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】身近な地域の特徴を、設定したテーマに沿ってとらえ、明らかにしたことを適切に表現する力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】身近な地域の特徴を明らかにするために、意欲的に地域調査に取り組もうとする姿勢を身に付ける。	47 調査テーマの設定 【学校のまわりの、地理的テーマを探せ！】 48 地域調査1（資料調査） 【「○○かな？」まずは仮説を立ててスタート。】 49 地域調査2（野外調査） 【どこを歩いて誰に聞くか。計画が大切だ。】 50 まとめと発表 【地域のこれからは、皆で考えていくために。】	【知識・技能】・地域調査の手順や注意すべきことを理解している。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめた力している。 【思考・判断・表現】・身近な地域の特徴を、設定したテーマに沿ってとらえ、明らかにしたことを適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】・身近な地域の特徴を明らかにするために、意欲的に地域調査に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
							合計 86

令和5年度 年間授業計画

教科・科目	地歴公民・世界史B	単位数	3単位
教科書 (出版社)	新選世界史B (東京書籍)	学年	3学年

学期	時間	授業内容（単元）	重点項目・評価の観点
一学期	4 2	世界史へのいざない 第1章ユーラシアの諸文明 東アジア（漢・隋・唐・宋など） 南アジア 東南アジア 西アジア（オリエント・イスラーム世界） ヨーロッパ（古代ギリシャ・ローマ、東西ヨーロッパ世界形成） アフリカ・アメリカ	・近現代の世界史を理解する前提とした世界史の前史を学ぶ ・常に史料・資料を踏まえて考え、歴史的事実を推測し、その確認を教科書で行うことで学習を進める。
二学期	4 8	第2章結びつく世界と近世の日本 東アジア オスマン帝国とサファヴィー朝 ヨーロッパの大航海時代 ルネサンスと宗教改革 ヨーロッパ主権国家体制の確立 産業革命 フランス革命や独立革命など 世界市場の形成 日本の明治維新など	・アジア・ヨーロッパの中世から近代初期を学ぶ。 ・気候変動などが文明の変化に影響を与えていることを踏まえ、歴史的事実を資料・史料を踏まえて確認する。 ・ルネサンスがイタリアから始まった理由など原因にさかのぼって考える。
三学期	2 7	第3章地球社会と日本 帝国主義の時代 世界戦争と平和 三つの世界と日本の動向 地域社会への歩みと動揺	・近代から現代について、二つの大戦と戦後の冷戦下の世界の情勢、冷戦崩壊後の世界などを学ぶ。 ・史料・資料・統計などを活用して、考えることで歴史事実を検証する作業を行う。 ・〔評価の観点〕 授業に積極的に参加できたか。 プリントの記入等、学習する姿勢を示したか。基本事項を理解したか。

* 授業は学期毎の予定に時間を示す（目安：1学期14週、2学期16週、3学期9週）。

* 授業内容は、生徒の理解度等に応じ計画と異なる場合があります。

令和5年度 年間授業計画

教科・科目	地歴公民・日本史A	単位数	2単位
教科書 (出版社)	現代の日本史 改訂版 (山川出版社)	学年	4学年 選択

学期	時間	授業内容（単元）	重点項目・評価の観点
一学期	28	近代国家の形成と国際関係の推移 ①明治維新 ②近代国家の確立 ③対外関係の変化	・ 欧米列強への危機的対応から大陸政策がいかに変遷していったかを通観し、その歴史的意味を考える。 ・ 国際社会での役割の変化と国内政治の民主化過程の概要を理解する。
二学期	32	近代産業の発展と两大戦をめぐる国際関係 ①近代産業の発展と社会運動の展開 ②第一次世界大戦と日本 ③第二次世界大戦と日本	・ 欧米の資本主義の全面的導入を通じて近代産業が急激に発展し、国民生活も豊かになる一方で、それに対するブレーキとしての社会運動も盛り上がりを見せてゆく様態を概観する。 ・ 国際社会における地位向上とそれに伴う欧米列強間の対立情勢への難しい対応の実態を捉える。
三学期	18	現代の日本と世界 ①占領下政治と独立 ②激動の世界経済と日本	・ 再出発期の政治・経済的なあり方を把握した上で、第二次世界大戦後の国際情勢の推移を通観する。 ・ 具体的には、東西対立という政治的要因からグローバル化という経済的要因へと力点の変遷してきている現代の国際社会における、日本のあり方を考える。

- * 授業は学期毎の予定に時間を示す（目安：1学期14週、2学期16週、3学期9週）。
- * 授業内容は、生徒の理解度等に応じ計画と異なる場合があります。

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科

保健体育

科目 体育

教科： 保健体育 科目： 体育

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ 組

教科担当者： 伊藤

使用教科書：（ 現代高等保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：

- | | |
|----------------|---|
| 【知識及び技能】 | 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 |
| 【思考力、判断力、表現力等】 | 運動や健康についての自己や社会の課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 |
| 【学びに向かう力、人間性等】 | 生涯にわたって継続して蘊奥に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。 |

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続できるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元:体づくり運動 【知識及び技能】 ・手軽な運動を行い、体と心は互いに影響し変化することや心身の状態に気づき、仲間と自主的にかかわり合おうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保しようとしている。	①体力づくり（ストレッチ、ジョギング等） ②体力づくり（ストレッチ、ジョギング等） ③体力づくり（ストレッチ、ジョギング等） ④体力づくり（ストレッチ、ジョギング等） ⑤トレーニング ⑥トレーニング ⑦トレーニング ⑧体力テスト計測 ⑨体力テスト計測 ⑩体力テスト計測	【知識及び技能】 ・手軽な運動を行い、体と心は互いに影響し変化することや心身の状態に気づき、仲間と自主的にかかわり合える。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保している。	○	○	○	10
	単元:陸上競技〔ハードル、走り高跳〕 【知識及び技能】 ・ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く超えること。 ・走り高跳びでは、スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶこと。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、自己の考えたことを他者に伝えようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・陸上競技に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保しようとしている。	ハードル走 ①フォーム、ルールの確認 ②ゴムハードルを使ったハードル走の練習 ③ミニハードルを使ったハードル走の練習 ④練習、タイム計測 ⑤練習、タイム計測 走り高跳 ①フォーム、ルールの確認 ②ゴムバーを使った練習 ③位置を低くした状態での練習 ④練習、記録計測 ⑤練習、記録計測	【知識及び技能】 ・ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く超えている。 ・走り高跳びでは、スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳んでいる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、自己の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・陸上競技に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保している。	○	○	○	10
	単元:球技 ネット型〔テニス〕 【知識及び技能】 ・ポジションの役割に応じたボールや用具の操作によって、相手側のコートに空いた場所をめぐる攻防を展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防など自己やチームの課題を発見し自己や仲間の考えたことを他者に伝えようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・テニスに自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保しようとしている。	①ラケットの握り方、基本的なルールの確認 ②短い距離でのラリー練習 ③短い距離でのラリー練習 ④長い距離でのラリー練習 ⑤サーブ練習 ⑥サーブ練習、簡易ゲーム ⑦ボレー練習、簡易ゲーム ⑧ゲーム形式の練習 ⑨ゲーム（シングルス、ダブルス） ⑩ゲーム（シングルス、ダブルス）	【知識及び技能】 ・ポジションの役割に応じたボールや用具の操作によって、相手側のコートに空いた場所をめぐる攻防を展開できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防など自己やチームの課題を発見し自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・テニスに自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保している。	○	○	○	10

2 学 期	単元:体づくり運動 【知識及び技能】 ・手軽な運動を行い、体と心は互いに影響し変化することや心身の状態に気づき、仲間と自主的にかかわり合おうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保しようとしている。	①体力づくり（ストレッチ、ジョギング等） ②体力づくり（ストレッチ、ジョギング等） ③有酸素運動、自重を使ったトレーニング ④有酸素運動、器具を使ったトレーニング ⑤有酸素運動、器具を使ったトレーニング ⑥体力づくり（ストレッチ、ジョギング等） ⑦体力づくり（ストレッチ、ジョギング等） ⑧有酸素運動、自重を使ったトレーニング ⑨有酸素運動、器具を使ったトレーニング ⑩有酸素運動、器具を使ったトレーニング	【知識及び技能】 ・手軽な運動を行い、体と心は互いに影響し変化することや心身の状態に気づき、仲間と自主的にかかわり合える。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保している。	○	○	○	10
	単元:球技 ネット型〔卓球〕 【知識及び技能】 ・ポジションの役割に応じたボールや用具の操作によって、相手側のコートの中をめぐり攻守を展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・攻守など自己やチームの課題を発見し自己や仲間の考えたことを他者に伝えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・卓球に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保しようとしている。	①ラケットの握り方、基本的なルールの確認 ②サーブ練習 ③ミニゲーム ④スマッシュ練習 ⑤シングルス形式での試合 ⑥シングルス形式での試合 ⑦ダブルスの練習 ⑧ダブルスの練習 ⑨ダブルス形式での試合 ⑩ダブルス形式での試合 ⑪トーナメント形式での試合 ⑫リーグ形式での試合	【知識及び技能】 ・ポジションの役割に応じたボールや用具の操作によって、相手側のコートの中をめぐり攻守を展開できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・攻守など自己やチームの課題を発見し自己や仲間の考えたことを他者に伝えられている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・卓球に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保している。	○	○	○	12
	単元:陸上競技〔長距離〕 【知識及び技能】 ・距離走では、事故に適したペースを維持して、一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり、競走したりできるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、自己の考えたことを他者に伝えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・陸上競技に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保しようとしている。	毎回タイム計測をし、自身の体力向上に努める。 ①～⑩ 男子2700m、女子1800m	【知識及び技能】 ・距離走では、事故に適したペースを維持して、一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり、競走したりできる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、自己の考えたことを他者に伝えられている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・陸上競技に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保している。	○	○	○	10
3 学 期	単元:球技 ゴール型〔ユニホック〕 【知識及び技能】 ・安定したボール操作などの動きによってゴール前の侵入などから攻守をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・攻守などの自己やチームの課題を発見し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ユニホックに自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保しようとしている。	①ラケットの握り方、基本的なルールの確認 ②ミニゲーム ③シュートの練習 ④パスの練習 ⑤動きながらのパス・シュートの練習 ⑥2対1などの数的優位な状態でのミニゲーム ⑦2対2 ⑧ゲーム	【知識及び技能】 ・安定したボール操作などの動きによってゴール前の侵入などから攻守をできる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・攻守などの自己やチームの課題を発見し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えられている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ユニホックに自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保している。	○	○	○	8
	単元:球技 ネット型〔バドミントン〕 【知識及び技能】 ・ポジションの役割に応じたボールや用具の操作によって、相手側のコートの中をめぐり攻守を展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・攻守など自己やチームの課題を発見し自己や仲間の考えたことを他者に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・バドミントンに自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保しようとしている。	①ラケットの握り方、基本的なルールの確認 ②サーブ練習 ③ハイクリア、ドロップ、ヘアピン練習 ④ミニゲーム ⑤スマッシュ練習 ⑥シングルス形式での試合 ⑦ダブルスの練習 ⑧ダブルス形式での試合	【知識及び技能】 ・ポジションの役割に応じたボールや用具の操作によって、相手側のコートの中をめぐり攻守を展開できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・攻守など自己やチームの課題を発見し自己や仲間の考えたことを他者に伝えられている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・バドミントンに自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保している。	○	○	○	8
							合計
							78

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組

教科担当者：伊藤

使用教科書：（現代高等保健体育）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて試行し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元:現代社会と健康 【知識及び技能】 ①疾病や症状の有無を重視する健康の考え方や、生活の質や生きがい重視する健康の考え方などの主体要因と保健・医療サービスなどの環境要因が互いに影響しあいながら健康の成立にかかわっていることについて理解できるようにする。 ②生活習慣病を予防するには、適切な運動、睡眠、食事、休養及び睡眠などバランスの取れた健康的な生活を続けることが必要であることを理解できるようにする。がんについては、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ①国民の健康課題について触れながら、自身の健康状態を発見している。生活の質や生きがい重視する健康の考え方をもとに、自身の健康とは何かを説明している。 ②生活習慣を見直し、自身の生活で足りない所の改善点を発見している。 【学びに向かう力、人間性等】 ①自分にとっての健康状態は何かを様々な面から考えようとしている。 ②生活習慣の改善について、話し合いより健康な生活習慣へと高め合おうとしている。	① 健康の考え方と成り立ち - 健康についての多様な考え方 - 健康の成り立ちとその要因 私たちの健康のすがた - わが国における健康水準の向上 - わが国における健康問題の変化 ② 生活習慣病の予防と回復 - 生活習慣病とその種類 がんの原因と予防 - がんとその種類、がんの予防 がんの治療と回復 - がんの治療と緩和ケア がんとともに生きる社会づくり 運動と健康 - 健康から見た運動の意義 - 健康により運動のしかた 食事と健康 - 健康的な食生活の意義 - 健康により食事のとり方 休養・睡眠と健康 - 健康からみた休養の意義 - 健康からみた睡眠の意義	【知識及び技能】 ①疾病や症状の有無を重視する健康の考え方や、生活の質や生きがい重視する健康の考え方などの主体要因と保健・医療サービスなどの環境要因が互いに影響しあいながら健康の成立にかかわっていることについて理解している。 ②生活習慣病を予防するには、適切な運動、睡眠、食事、休養及び睡眠などバランスの取れた健康的な生活を続けることが必要であることを理解できるようにする。がんについては、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ①国民の健康課題について触れながら、自身の健康状態を発見している。生活の質や生きがい重視する健康の考え方をもとに、自身の健康とは何かを説明する。 ②生活習慣を見直し、自身の生活で足りない所の改善点を発見する。 【学びに向かう力、人間性等】 ①自分にとっての健康状態は何かを様々な面から考えている。 ②生活習慣の改善について、話し合いより健康な生活習慣へと高め合おうとしている。	○	○	○	14

[illegible]

高等学校 令和5年度（2 学年用） 教科

保健体育 科目 体育

教 科： 保健体育 科 目： 体育 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ 組

教科担当者： 伊藤

使用教科書：（ 現代高等保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：

【知 識 及 び 技 能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自己や社会の課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたって継続して蘊奥に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続できるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元:体づくり運動 【知識及び技能】 ・手軽な運動を行い、体と心は互いに影響し変化することや心身の状態に気づき、仲間と主体的にかかわり合おうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保しようとしている。	①体力づくり（ストレッチ、ジョギング等） ②体力づくり（ストレッチ、ジョギング等） ③体力づくり（ストレッチ、ジョギング等） ④体力づくり（ストレッチ、ジョギング等） ⑤トレーニング ⑥トレーニング ⑦トレーニング ⑧体力テスト計測 ⑨体力テスト計測 ⑩体力テスト計測	【知識及び技能】 ・手軽な運動を行い、体と心は互いに影響し変化することや心身の状態に気づき、仲間と主体的にかかわり合える。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保している。	○	○	○	10
	単元:陸上競技〔ハードル、走り高跳〕 【知識及び技能】 ・ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く超すこと。 ・走り高跳びでは、スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶこと。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、自己の考えたことを他者に伝えようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・陸上競技に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保しようとしている。	ハードル走 ①フォーム、ルールの確認 ②ゴムハードルを使ったハードル走の練習 ③ミニハードルを使ったハードル走の練習 ④練習、タイム計測 ⑤練習、タイム計測 走り高跳 ①フォーム、ルールの確認 ②ゴムバーを使った練習 ③位置を低くした状態での練習 ④練習、記録計測 ⑤練習、記録計測	【知識及び技能】 ・ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く超せている。 ・走り高跳びでは、スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳べている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、自己の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・陸上競技に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保している。	○	○	○	10
	単元:球技 ネット型〔テニス〕 【知識及び技能】 ・ポジションの役割に応じたボールや用具の操作によって、相手側のコートの空いた場所をめぐる攻防を展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防など自己やチームの課題を発見し自己や仲間の考えたことを他者に伝えようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・テニスに自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保しようとしている。	①ラケットの握り方、基本的なルールの確認 ②短い距離でのラリー練習 ③短い距離でのラリー練習 ④長い距離でのラリー練習 ⑤サーブ練習 ⑥サーブ練習、簡易ゲーム ⑦ボレー練習、簡易ゲーム ⑧ゲーム形式の練習 ⑨ゲーム（シングルス、ダブルス） ⑩ゲーム（シングルス、ダブルス）	【知識及び技能】 ・ポジションの役割に応じたボールや用具の操作によって、相手側のコートの空いた場所をめぐる攻防を展開できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防など自己やチームの課題を発見し自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・テニスに自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保している。	○	○	○	10

2 学 期	単元:体づくり運動 【知識及び技能】 ・手軽な運動を行い、体と心は互いに影響し変化することや心身の状態に気づき、仲間と自主的にかかわり合おうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保しようとしている。	①体力づくり（ストレッチ、ジョギング等） ②体力づくり（ストレッチ、ジョギング等） ③有酸素運動、自重を使ったトレーニング ④有酸素運動、器具を使ったトレーニング ⑤有酸素運動、器具を使ったトレーニング ⑥体力づくり（ストレッチ、ジョギング等） ⑦体力づくり（ストレッチ、ジョギング等） ⑧有酸素運動、自重を使ったトレーニング ⑨有酸素運動、器具を使ったトレーニング ⑩有酸素運動、器具を使ったトレーニング	【知識及び技能】 ・手軽な運動を行い、体と心は互いに影響し変化することや心身の状態に気づき、仲間と自主的にかかわり合える。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保している。	○	○	○	10
	単元:球技 ネット型〔卓球〕 【知識及び技能】 ・ポジションの役割に応じたボールや用具の操作によって、相手側のコートに空いた場所をめぐる攻防を展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防など自己やチームの課題を発見し自己や仲間の考えたことを他者に伝えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・卓球に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保しようとしている。	①ラケットの握り方、基本的なルールの確認 ②サーブ練習 ③ミニゲーム ④スマッシュ練習 ⑤シングルス形式での試合 ⑥シングルス形式での試合 ⑦ダブルスの練習 ⑧ダブルスの練習 ⑨ダブルス形式での試合 ⑩ダブルス形式での試合 ⑪トーナメント形式での試合 ⑫リーグ形式での試合	【知識及び技能】 ・ポジションの役割に応じたボールや用具の操作によって、相手側のコートに空いた場所をめぐる攻防を展開できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防など自己やチームの課題を発見し自己や仲間の考えたことを他者に伝えられている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・卓球に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保している。	○	○	○	12
	単元:陸上競技〔長距離〕 【知識及び技能】 ・距離走では、事故に適したペースを維持して、一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり、競走したりできるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、自己の考えたことを他者に伝えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・陸上競技に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保しようとしている。	毎回タイム計測をし、自身の体力向上に努める。 ①～⑩ 男子2700m、女子1800m	【知識及び技能】 ・距離走では、事故に適したペースを維持して、一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり、競走したりできる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、自己の考えたことを他者に伝えられている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・陸上競技に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保している。	○	○	○	10
3 学 期	単元:球技 ゴール型〔ユニホック〕 【知識及び技能】 ・安定したボール操作などの動きによってゴール前の侵入などから攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ユニホックに自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保しようとしている。	①ラケットの握り方、基本的なルールの確認 ②ミニゲーム ③シュートの練習 ④パスの練習 ⑤動きながらのパス・シュートの練習 ⑥2対1などの数的優位な状態でのミニゲーム ⑦2対2 ⑧ゲーム	【知識及び技能】 ・安定したボール操作などの動きによってゴール前の侵入などから攻防をできる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えられている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ユニホックに自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保している。	○	○	○	8
	単元:球技 ネット型〔バドミントン〕 【知識及び技能】 ・ポジションの役割に応じたボールや用具の操作によって、相手側のコートに空いた場所をめぐる攻防を展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防など自己やチームの課題を発見し自己や仲間の考えたことを他者に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・バドミントンに自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保しようとしている。	①ラケットの握り方、基本的なルールの確認 ②サーブ練習 ③ハイクリア、ドロップ、ヘアピン練習 ④ミニゲーム ⑤スマッシュ練習 ⑥シングルス形式での試合 ⑦ダブルスの練習 ⑧ダブルス形式での試合	【知識及び技能】 ・ポジションの役割に応じたボールや用具の操作によって、相手側のコートに空いた場所をめぐる攻防を展開できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防など自己やチームの課題を発見し自己や仲間の考えたことを他者に伝えられている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・バドミントンに自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保している。	○	○	○	8
							合計
							78

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科： 保健体育 科目： 保健 単位数： 1 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組

教科担当者： 伊藤

使用教科書： （ 現代高等保健体育 ）

教科 保健体育	の目標：
【知識及び技能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健	の目標：
【知識及び技能】	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて試行し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元:生涯を通じる健康 【知識及び技能】 ①思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることを理解できるようにする。自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることを理解できるようにする。 ②結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解できるようにする。家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについても理解できるようにする。 ③疾病や事故のリスクが高まること、健康の回復が長期化する傾向にあることについて理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ①思春期と健康について、習得した知識を基に心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために性に関わる情報を適切に整理すること。 ②結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理すること。 ③加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ①思春期を理解し、心と体について様々な面から考えようとしている。 ②性意識や妊娠について、話し合い結婚生活の考えを高め合おうとしている。 ③中高年期の学習に主体的に取り組もうとしている。	① ライフステージと健康 ・ライフステージと死亡や病気 ・各ライフステージにおける健康課題 思春期と健康 ・思春期と体と健康 ・思春期と心と健康 ② 性意識と性行動の選択 ・性意識とその尊重 妊娠・出産と健康 ・受精・妊娠・出産 ・母子保健サービスの活用 避妊法と人工妊娠中絶 ・家族計画の意義と避妊法 ・人工妊娠中絶 結婚生活と健康 結婚生活の基盤となる心身の発達 結婚生活と家族の健康 ③ 中高年期と健康 ・加齢による変化と健康 ・高齢者の健康を支える取組	【知識及び技能】 ①思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることを理解できるようにする。自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることを理解している。 ②結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解できるようにする。家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについても理解している。 ③疾病や事故のリスクが高まること、健康の回復が長期化する傾向にあることについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ①思春期と健康について、習得した知識を基に心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために性に関わる情報を適切に整理している。 ②結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ③加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 ①思春期を理解し、心と体について様々な面から考えている。 ②性意識や妊娠について、話し合い結婚生活の考えを高め合っている。 ③中高年期の学習に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	14

[illegible]

令和5年度 年間授業計画

教科・科目	保健体育・体育	単位数	2単位
教科書 (出版社)	最新高等保健体育改訂版 (大修館書店)	学年	3学年

学期	時間	授業内容（単元）	重点項目・評価の観点
一学期	28	オリエンテーション 体力づくり 体育理論	・自己の能力を確認させる。 ・基礎体力の向上を目指す。 ・運動やスポーツの必要性について理解させる。
		バドミントン	フォームやフットワーク等、基礎練習に重点を置く。簡易ゲーム等を行い、ルールへの理解を深める。練習への取り組み、技術の向上等を評価する。
		バレーボール 卓球	動き方を理解し、技能を身に付けながら練習やゲームを行う。技術・記録の向上等を評価する。
		陸上	走り高跳び・幅跳び・砲丸投げ・槍投げを重点的に学ぶ。積極性・技術的進歩・タイムの向上等を評価する。
二学期	32	ソフトボール	キャッチボールやバッティング等の基礎練習に重点を置く。簡易ゲーム等を行い、ルールへの理解を深める。練習への取り組み、技術の向上等を評価する。
		バスケットボール	レイアップシュートや各種パスなど、基礎的な練習やゲームを重点的に行う。練習への取り組み、技術の向上等を評価する。
		持久走	タイムトライアルに向け、インターバルやペース走などを行う。自己の能力に適したペース配分で走り続けタイムの向上を評価する。
三学期	18	ニュースポーツ	生涯スポーツの楽しさを体験し、スポーツの習慣化の必要性を理解する。生涯スポーツで実施されている種目を経験することで、スポーツを気軽に楽しむ基本技術を身につける。練習への取り組み、技術の向上等を評価する

* 授業は学期毎の予定に時間を示す（目安：1学期14週、2学期16週、3学期9週）。

* 授業内容は、生徒の理解度等に応じ計画と異なる場合があります。

令和5年度 年間授業計画

教科・科目	保健体育・体育	単位数	2 単位
教科書 (出版社)	最新高等保健体育 (大修館書店)	学年	4 学年

学期	時間	授業内容（単元）	重点項目・評価の観点
一 学 期	2 8	オリエンテーション 体力づくり 体育理論	・ 自己の能力を確認させる。 ・ 基礎体力の向上を目指す。 ・ 運動やスポーツの必要性について理解させる。
		種目選択 バドミントン 卓球	シャトルをコントロールし基礎練習に重点を置く。簡易ゲーム等を行い、ラリーが続く楽しさを感じさせる。練習への取り組み、技術の向上等を評価する。
		種目選択 バスケットボール ハンドボール	状況に応じたセットオフENSE、ディフェンスを理解しゲーム展開を行う。個人技術の集団技能の向上等を評価する。
		陸上	走り高跳び・幅跳び・砲丸投げ・槍投げを重点的に学ぶ。積極性・技術的進歩・タイムの向上等を評価する。
学 期	3 2	ソフトボール	キャッチボールやバッティング等の基礎練習に重点を置く。簡易ゲーム等を行い、ルールへの理解を深める。練習への取り組み、技術の向上等を評価する。
		持久走	タイムトライアルに向け、インターバルやペース走などを行う。自己の能力に適したペース配分で走り続けタイムの向上を評価する。
三 学 期	1 8	種目選択 ユニホック タグラグビー バウンドテニス ディスクゴルフ	生涯スポーツの楽しさを体験し、スポーツの習慣化の必要性を理解する。生涯スポーツで実施されている種目を体験することで、スポーツを気軽に楽しむ基本技術を身につける。練習への取り組み、技術の向上等を評価する。

* 授業は学期毎の予定に時間を示す（目安：1 学期 1 4 週、2 学期 1 6 週、3 学期 9 週）。

* 授業内容は、生徒の理解度等に応じ計画と異なる場合があります。

令和5年度 年間授業計画

教科・科目	保健体育・体育	単位数	2 単位
教科書 (出版社)	最新高等保健体育 (大修館出版)	学年	4 学年 選択

学期	時間	授業内容 (単元)	重点項目・評価の観点
一 学 期	2 8	オリエンテーション 体力づくり 体育理論 種目選択 ソフトバレーボール ターゲットバードゴルフ テニス バドミントン ディスゲッター	・自己の能力を確認させる。 ・基礎体力の向上を目指す ・運動やスポーツの必要性について理解させる。 主体的にとりくむとともにルールやマナーを 守ることの大切さや、勝敗に対する公正な態度を身につける。基本技能の復習、発展練習、チームプレー、ミニゲーム行い、関心・意欲・技能・出欠席など総合的に評価する。
二 学 期	3 2	種目選択 ソフトバレーボール フットサル パドルテニス キックベースボール 筋力トレーニング	主体的にとりくむとともにルールやマナーを 守ることの大切さや、勝敗に対する公正な態度を身につける。基本技能の復習、発展練習、チームプレー、ミニゲーム行い、関心・意欲・技能・出欠席など総合的に評価する。
三 学 期	1 8	種目選択 ドッチビー ユニホック アルティメット インディアカ	主体的にとりくむとともにルールやマナーを 守ることの大切さや、勝敗に対する公正な態度を身につける。基本技能の復習、発展練習、チームプレー、ミニゲーム行い、関心・意欲・技能・出欠席など総合的に評価する。

* 授業は学期毎の予定に時間を示す（目安：1 学期 1 4 週、2 学期 1 6 週、3 学期 9 週）。

* 授業内容は、生徒の理解度等に応じ計画と異なる場合があります。

令和5年度 年間授業計画

教科・科目	芸術・美術 I	単位数	2 単位
教科書 (出版社)	高校生の美術 1 (日本文教出版)	学年	3 学年

学期	時間	授業内容 (単元)	重点項目・評価の観点
一学期	24	・ 抽象表現 ・ デザイン「マスクのデザイン」	・ 自由な形や線を使ってイメージから絵を創ることができる。また、個性的な表現ができる。
二学期	28	・ お面の製作	・ 粘土という実材を使うことで立体表現の現実感と形成に対する楽しさを知ることができる。
三学期	18	・ ケント紙で作る立体構成 ・ 八角スクラッチ時計	・ 指を動かすことで組み合わせや形成においてイメージの活性化を図ることができる。 ・ タッチの方向や密度によって、様々なぞ柄を作り出せ、着色することで一層の達成感を得ることができる。

* 授業は学期毎の予定に時間を示す(目安:1 学期 12 週、2 学期 14 週、3 学期 9 週)。

* 授業内容は、生徒の理解度等に応じ計画と異なる場合があります。

令和5年度 年間授業計画

教科・科目	芸術・音楽Ⅱ	単位数	2単位
教科書 (出版社)	MOUSA 2 (教育芸術社)	学年	4 学年

学期	時間	授業内容（単元）	重点項目・評価の観点
一 学 期	2 8	1 年間の授業内容の説明 生徒の実技科目の確認 実技の変更等の受付 ピアノ 右手左手の使い方・指の形 タッチ等 ギター 各弦の説明・コードの読み方 琴：格言の説明・楽譜の読み方	各自が自分にあった科目を 選んだか気をつける。 毎週チェックして進み具合を 見る。 学期末に実技のテスト
二 学 期	3 2	ピアノ 基本を理解した人から 自分の弾きたい曲を選ぶ ギター 基本を理解し、独奏か歌を 入れるのか注意して曲を選ぶ 琴：基本を理解し、表現力をつ ける。	1 学期に身につけた基本を 理解した上で、さらなる応用曲に 進み、音楽を楽しむ。 毎週チェックしてアドバイスを する。 学期末に実技のテスト
三 学 期	1 8	ピアノ・ギター・琴 演奏会の曲を発表に向けて 仕上げる。	発表用に曲を1 曲以上 選曲させて、人前で弾く表現法を 学ぶ。 毎週チェックしてアドバイスを する。 学期末に実技のテスト

* 授業は学期毎の予定に時間を示す(目安:1 学期 14 週、2 学期 16 週、3 学期 9 週)。

* 授業内容は、生徒の理解度等に応じ計画と異なる場合があります。

高等学校 令和5年度（1・2学年用） 教科 家庭 科目 家庭基礎

教 科： 家庭 科 目： 家庭基礎 単位数： 2 単位
対象学年組：第 2 学年 組～ 組
教科担当者：（A 組： 相原幸子（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）
使用教科書：（ 家庭707図説家庭基礎 ）
教科 家庭 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】 家族や生活の営みを人の一生とのかかわりの中でとらえ、家族や家庭生活のありかた、子どもと高齢者の生
【思考力、判断力、表現力等】 活と福祉、生活の自立のための衣食住や消費生活環境などの基礎的な知識・技術を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】 生活課題を主体的に解決し、生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につける。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元名：自分らしい生き方と家族 【知識・技能】 ・ライフステージごとの発達課題や、ライフイベントについて理解する。 ・青年期の課題である生活的・経済的・精神的・性的自立について理解し、自覚できるようにする。 ・時代とともに変化する家族・家庭について学習し、現在の家族の抱える課題などを多角的に理解する。 【思考・判断・表現】 ・職業につく意義や多様化する就業形態について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自己分析をして、自分のことを紹介することができる。 ・将来の自分がつくる家族について考えようとしている。	・指導事項 1節 生涯発達する人生 2節 これからの人生をデザインする 3節 青年期を生きる 4節 生活を支える労働 5節 生活時間から見えてくるもの 6節 男女共同参画社会をめざして 7節 現代の家族 8節 家族・家庭を取り巻く社会環境の変化や課題 9節 家族に関する法律の理念と変化 10節 家族にかかわる法律 ・教材 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・各ライフステージごとの発達課題について理解し、それぞれの発達段階で起こり得るライフイベントと関連させて理解することができる。 ・4つの自立について理解し、自分らしさは一人ひとり異なることを理解できる。 【思考・判断・表現】 ・家事労働について話合うことで、現在の自分について理解し、他者の意見を聞き、課題が見つければ改善することを考えられる。 ・自分自身の生活を見つめ、自立へむけて課題を発見し、将来の発達課題ともかかわらせ自身の将来について思考・判断することができる。 ・自分にとっての家族について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自己分析をして、周りの人に自分のことを紹介することができる。 ・人により家族と思う範囲や家族形態が異なることについてわかっていっている。将来の自分がつくる家族について考えようとしている。 ・法律と自分のかかわりについて理解し、成年年齢の変更や理由、権利と責任などについて	○	○	○	12
	B 単元名：子どもとかかわる 【知識・技能】 ・妊娠の成立から誕生までを理解することにより、その重要性を認識する。 ・子どもの身体の成長について、大まかな流れと特徴を学ぶ。 ・子どものものの見方・感じ方には子ども独特の世界があることを理解する。 ・手縫いで簡単な幼児のおもちゃの製作ができる。 （はさめるマスコット） 【思考・判断・表現】 ・子どもの食生活・衣生活について理解を深める。 ・遊びの影響や種類を理解し、今日の課題解決に向けた行動を挙げることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・子どもとの交流を通して、遊びが豊かになるよう工夫することができるようにする。 ・家庭保育と集団保育、子育てのための国や地域の社会的支援について理解する。	・指導事項 1節 子どもの誕生 2節 からだの発達 3節 運動機能の発達と知的発達 4節 かかわりのなかの発達 5節 子どもの生活習慣と健康 6節 子どもの食生活・衣生活 7節 子どもと遊び 8節 親になることを考えよう 9節 すこやかに育つ環境と支援 10節 子どもを守る法律・制度 妊婦体験 はさめるマスコット製作 ・教材 ・妊婦体験セット ・プリント ・新生児人形 ・乳児・幼児の動画 ・は冷めるマスコット見本 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・妊娠の成立から誕生までを理解することにより、その重要性を認識することができる。 ・妊婦体験を通して、妊婦の体の特徴を理解する。 ・誕生から幼児期までの子どものからだの発達について理解する。 ・運動機能の発達と知的発達について理解できる。 ・幼児のおもちゃ（は冷めるマスコット）を製作する。 【思考・判断・表現】 ・発達段階に応じた子どもの基本的生活習慣や社会的な生活習慣とその重要性について理解できる。 ・子どもの発達に対し、どのような関わり方がよいか考えることができる。 ・現在の子育ての環境や地域社会や国の支援策や課題などについて、情報を収集し、まとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・妊婦体験を通して、妊婦への接し方について考え行動しようとする。 ・子どもの発達段階を考えたおもちゃを作成しようとしている。 ・保育実習などにおいて、子どもと関わろうとしている。 ・自分の現在・将来と結びつけながら、考え、学習しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1

2 学 期	C 単元名：高齢者とかかわる 【知識・技能】 ・高齢社会の現状を理解するとともに、高齢者への理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・ボディメカニクスについて理解し介護の実態を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・高齢者体験をすることで、高齢期の過ごし方について自身のこと、家族のことと結びつけながら考えようとしている。単元単元名：衣生活をつくる	・指導事項 1節 高齢社会に生きる 2節 高齢者を知る 3節 高齢者のサポートと介護の心 4節 高齢社会を支えるしくみ 高齢者体験 ・教材 ・プリント ・高齢者体験セット ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・加齢に伴う心身の変化や特徴について理解し、その変化については個人差があることも理解できる。 ・高齢者にとって家族とはどのような存在なのか、高齢者の経済状況や社会参加状況などについて理解を深めることができる。 【思考・判断・表現】 ・ボディメカニクスについて理解し、介助実習を行っている。 ・認知症の症状と接し方について理解し、相手のことを理解しようとし、支えられる側から、支える側になっていこうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・高齢者体験をすることで、高齢期の過ごし方について自身のこと、家族のことと結びつけながら考えようとしている。	○	○	○	4
	D 【知識・技能】 ・基礎縫い（手縫い）の実習を通して、技術を習得する。	・指導事項 基礎縫い練習 基礎縫いテスト ・教材 ・プリント ・基礎縫い動画 ・基礎縫い見本 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 なみ縫い・本返し縫い・まつり縫い・ボタン付けができる。	○	○	○	2
	定期考査 【知識・技能】【思考・判断・表現】 定期考査を通して、1学期に学習した内容を理解しているか確認する。	期末テスト	【知識・技能】【思考・判断・表現】 定期考査を通して、1学期に学習した内容を理解している。	○	○		1
	E 単元名：衣生活をつくる 【知識・技能】 ・衣服の機能を理解する。 ・繊維の種類と特徴について理解する。 ・糸と布の種類・構造について理解する。 【思考・判断・表現】・衣服素材の性能について理解し、衣服の入手から処分まで、衣生活を計画的に考えられるようになる。 ・衣服を購入する際の表示の見方がわかる。 ・湿式洗濯・乾式洗濯などの洗濯の方法や注意点を理解する。 ・家庭洗濯の方法とポイントを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・被服製作実習に意欲的に取り組んでいる。	・指導事項 1節 人と衣服のかかわり 2節 健康で安全な衣服 3節 衣服素材の種類と特徴 4節 衣服素材の性能と改善 5節 衣生活の計画と購入 6節 衣服の管理 7節 家庭での洗濯・保管8節 持続可能な衣生活をつくる ・スウェーデン刺繍の製作 ・教材 ・プリント ・繊維、織物の映像 ・衣類の手入れの動画 ・スウェーデン刺繍の見本 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・自然環境と衣服のかかわり、社会環境と衣服の関係から、衣服が持つ機能を理解することができる。 ・繊維の種類と特徴と用途が理解できる。 ・織物・編物の種類と構造が理解できる。 ・湿式洗濯・乾式洗濯などの洗濯の種類や、洗剤のはたらきについて理解できる。 ・アイロンを適切にかけることができる。 ・スウェーデン刺繍の製作ができる。 【思考・判断・表現】 ・快適な衣服とはどのような着心地か考えられる。 ・衣服の購入の際、自分のサイズを把握し、表示から必要な情報を読み取ることができる。 ・衣服材料・衣服管理・整理についての基礎的な知識を身につけ、衣服管理において適切な判断ができる。 ・アイロンを適切にかけることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実験に積極的に参加しようとしている。 ・被服製作実習に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	14
	F 単元名：食生活をつくる 【知識・技能】 ・現代の食生活の傾向を理解し、健康的な食生活の必要性に気づく。 ・栄養とからだのつながりや栄養素と水のはたらきを理解する。 ・食品の旬や選択する際のポイント、食品の品質表示について理解する。 【思考・判断・表現】 ・食中毒の種類を学び、衛生的な管理に結びつける。 ・安全なものを食べるための取り組み、環境への取り組みを考える。 ・食事摂取基準を理解し、実際にバランスのよい食事計画につなげることができるようにする。 ・食事摂取基準や食品群別摂取量のめやすを考慮しながら、家族や状況にあわせて献立を作成できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・調理実習を通して、調理技術を習得する。	・指導事項 1節 私たちの食生活と健康 2節～7節 5大栄養素（炭水化物・脂質・タンパク質・無機質・ビタミン） 8節 その他の食品 9節 食品の選択と表示 10節 食品の衛生 11節 食料自給率と食のグローバル化 12節 食の未来と環境への取り組み 13節 食事摂取基準 14節 食品群別摂取量のめやす 15節 献立作成 16節 調理の基本 調理実習・技能テスト（リンゴの皮むき・きゅうりの半月切り） 味覚実験 ・教材 ・プリント ・エプロン・三角巾等 ・成分表 ・調理実習動画 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・生活習慣病、摂食障害、月経異常などと食生活がかかわっていることを理解できる。 ・5大栄養素と水についての基礎的な知識を習得できる。 ・食中毒の種類や予防法等について理解できる。 ・栄養・食品に関する科学的な知識や調理の基礎的な技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができる。 ・調理に関する基本的な「切る」「炒める」「ゆでる」「焼く」などの調理技術を身につけ、実際に調理ができるようになる。 【思考・判断・表現】 ・外食やコ食について理解を深めようとしている。 ・食品と栄養、調理との関係において、科学的な視点をもって、知識を深めようとしている。 ・衛生的な調理や食事管理ができるようになる。 ・栄養・食品に関する科学的な知識や調理の基礎的な技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の現在の食生活を振り返り、課題を見つけ、改善にむけて積極的に取り組もうとしている。 ・食中毒の種類や予防法等について学び、衛生的な調理や食事管理ができるようになる。 ・食品添加物の種類やその使用の目的について理解し、安全性についても考えることができる。 ・調理実習においては、積極的に参加しようとしている。	○	○	○	16
	定期考査 【知識・技能】【思考・判断・表現】 定期考査を通して、1学期に学習した内容を理解しているか確認する。	期末テスト	【知識・技能】【思考・判断・表現】 定期考査を通して、1学期に学習した内容を理解している。	○	○		1

3 学 期	G 単元名：住生活をつくる 【知識・技能】 ・住まいの機能や文化、生活様式について理解する。 ・快適な室内環境について、日照・採光、通風・換気、騒音・しゃ音、冷暖房などの要素を理解する。 ・自然災害や人為的な災害と対策について理解する。 ・家庭内事故と安全な住まい環境について理解する。 ・環境に配慮した住まいや住環境にするための方法を理解する。 【思考・判断・表現】 ・平面図の読み取りができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・将来どのような家に住みたいかシミュレーションすることができる。	・指導事項 1節 人と住まいのかかわり 2節 平面計画からみた住空間 3節 ライフステージと住まいの計画 4節 健康に配慮した住まい 5節 安全な住まい 6節 持続可能な住まい 7節 これからの住まい ・教材 ・プリント ・動画 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・住まいの機能や文化、生活様式について理解できる。 ・快適な室内環境について、日照・採光、通風・換気、騒音・しゃ音、冷暖房などの要素を理解できる。 ・家庭内事故と安全な住まい環境について理解する。 ・環境に配慮した住まいや住環境にするための方法を理解する。 【思考・判断・表現】 ・平面図の読み取りができるようになる。 ・自然災害や人為的な災害と対策が出来るようになる。 ・不動産広告から正しい情報を読み取り、判断できる。 ・空間に自分で適切な家具などの配置が決定できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・将来どのような家に住みたいかシミュレーションし、よりよい住環境について思考することができる。	○	○	○	8
	H 単元名：消費行動を考える 【知識・技能】 ・さまざまな契約や主体的な消費行動について理解する。 ・さまざまな問題商法や、被害にあった場合の解決方法について理解する。 ・消費者の権利と責任について理解する。 【思考・判断・表現】 ・さまざまな支払い方法のしくみや計画的にお金を使うことの大切さを知る。 ・問題商法の被害を未然に防いだり、早期に解決するための方法について思考・判断ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実際の生活において、環境に配慮した消費行動をとることができる。	・指導事項 1節 契約と主体的な消費行動 2節 多様化する販売方法と問題商法 3節 消費者を守る制度・法律 4節 多様化する支払い方法 5節 消費者の権利と責任 6節 持続可能な社会の構築 7節 持続可能な社会をめざす取り組み ・教材 ・プリント ・動画 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・「契約」の基本的なしくみを理解できる。 ・情報リテラシーの大切さを理解できる。 ・クレジットやローンなどの消費者信用を前提とした支払い方法のしくみを理解できる。 ・多重債務に陥らないために、計画的に支払うことの大切さがわかる。 【思考・判断・表現】 ・自分たちが消費行動を日々行っている消費者であることを理解し、消費行動においては、都度意思決定が行われていることが理解できる。 ・問題商法の被害を未然に防いだり、早期に解決するための方法について思考・判断ができる。 ・多重債務に陥らないために、計画的に支払うことの大切さがわかる。 ・SDGsについて、身近な例をもとに思考・判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・家庭生活と資源・環境との関係についての知識を身につけている。 ・環境ラベルについての知識がある。 ・実際の生活において、環境に配慮した消費行動をとることができる。	○	○	○	4
	I 単元名：経済的に自立する 【知識・技能】 ・家計の構成や、収入と支出の特徴を理解する。 ・生活設計とかわらせて、長期の経済設計の必要性について理解する。 ・資産運用について理解できる。 ・家計と国民経済・国際経済のつながりについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・給与明細の見方を学習し、給与の使い方をシミュレーションできる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・経済的な自立に向けて、長期的な経済設計が立てられるようになる。	・指導事項 1節 日々の収入・支出を把握する 2節 社会と家計の変化 3節 長期的な経済計画を立てる 4節 経済のなかの家計 ・教材 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・家計の構成がわかる。 ・収入と支出の種類と特徴がわかる。 【思考・判断・表現】 ・給与の使い方をシミュレーションし、思考することができる。 ・保険や金融商品などの種類や特徴について知識が身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・経済的な自立に向けて、長期的な経済設計が立てられるようになる。	○	○	○	4
							合計
							78

令和5年度 年間授業計画

教科・科目	家庭・フードデザイン	単位数	2単位
教科書 (出版社)	フードデザイン cooking&arrangement (教育図書)	学年	4 学年

学期	時間	授業内容（単元）	重点項目・評価の観点
一学期	28	食生活について 1 食の歴史 2 栄養素 3 食べ方と健康 4 何をどれだけ食べるか 5 調理実習	・ 人類と食のつながり、食と健康とのつながりを理解する。 ・ 中食による栄養バランスのとり方を理解する。 ・ 調理技術を高めることができる。 ☆ 確認テスト、提出物、実習により評価する
二学期	32	6 食料自給率 7 食品添加物と安全 8 日本の伝統行事食と食文化 9 郷土料理 10 世界の食文化	・ 世界の人々と自国の食について理解する。 ・ 日本の食文化を語れるようになる。 ・ 日本の行事食を作れるようになる。 ・ 食の安全について理解する。 ☆ 確認テスト、提出物、実習により評価する。
三学期	18	11 調理と薬膳 12 テーブルコーディネート 13 テーブルマナー	☆ 実習・提出物により評価する。

* 授業は学期毎の予定に時間を示す(目安:1 学期 14 週、2 学期 16 週、3 学期 9 週)。

* 授業内容は、生徒の理解度等に応じ計画と異なる場合があります。

高等学校 令和5年度（1・2学年用） 教科 情報 科目 情報Ⅰ

教 科： 情報 科 目： 情報Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組

教科担当者：小林 翠

使用教科書：（新編 情報Ⅰ 東京書籍）

教科 情報 の目標：

- 【知識及び技能】効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。
- 【思考力、判断力、表現力等】事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。
- 【学びに向かう力、人間性等】情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

科目 情報Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・ Society5.0から情報Ⅰの学習目標とシラバスを理解する。	オリエンテーション	・ Society5.0とは何か理解できる。	○	○	○	2
	・ 情報の特性から、情報とは何か理解する。 ・ さまざまなメディアの特性を理解する。	情報とメディアの特性	・ 情報やメディアの特性を理解している。 ・ 伝える情報に対して適切な表現メディアを判断することができる。 ・ 情報やメディアの特性を理解しようとしている。	○	○	○	1
	・ 文書処理ソフトウェアについて、書式の設定や配置の変更など、基本的な操作を学習する。	文書処理ソフトウェアの操作	・ 文書処理ソフトウェアの基本操作が身についている。 ・ 文書処理ソフトウェアの操作の考えから、さまざまな処理の方法を考えることができる。	○	○	○	6
	・ 問題を発見・解決するための一連の流れを理解する。 ・ 問題の発見・解決に情報技術が活用できることを理解する。	問題解決の流れ 発想法	・ 問題解決のプロセスを理解している。 ・ 身近な問題について、問題解決のプロセスを当てはめて考えることができる。 ・ 身近な問題について、問題解決のプロセスを当てはめようとしている。	○	○	○	3
	・ 情報社会で生活していくための情報モラルを理解する。 ・ 個人情報とはどのようなものか理解する。	情報モラル 個人情報の流出 傷つかない傷つけないために	・ インターネットを利用する際を守るべき決まり事を理解している。 ・ 個人情報とは何かを理解している。 ・ 自分の個人情報をどこまでインターネット上に公開できるか考えることができる。	○	○	○	2
	・ 著作権について理解する。 ・ 引用の仕方を理解する。	著作権	・ 著作権ではどのようなものを保護しているかを理解している。 ・ 著作権の利用について保護されているかどうか適切に判断することができる。	○	○	○	2
	・ 情報デザインとは何か学習する。 ・ 文書処理ソフトウェアを活用して、情報デザインの考え方を基に文書を作成する。	情報デザイン	・ 情報デザインの方法を理解している。 ・ 情報を可視化して表現することができる。	○	○	○	2
	・ ユニバーサルデザインについて学習する。 ・ ユーザインタフェースについて学習する。	ユニバーサルデザイン	・ ユニバーサルデザインとは何かを理解している。 ・ 身の回りにある機器のユーザインタフェースをより使いやすくするアイデアを考えることができる。	○	○	○	1
	・ 情報デザインのプロセスを理解する。	情報デザインの流れ	・ デザイン思考の流れについて理解している。 ・ 問題解決をするために「誰に」「何を」「どのように」取り組んだらよいかをデザイン思考の流れで考えることができる。	○	○	○	1
	・ 画像処理や電子商取引などの新しい情報技術について学習する。	情報通信技術の発展 情報化と私たちの生活の変化 よりよい情報社会へ	・ 身の回りの情報技術の活用場面を理解している。 ・ 情報化の進展による生活の変化について理解している。 ・ よりよい情報社会を築くための情報環境について理解している。 ・ サイバー犯罪の対策を考えることができる。	○	○	○	2
	・ メディアとコミュニケーションの変遷について学習する。	コミュニケーション手段の変化 ネットコミュニケーションの特性	・ コミュニケーション手段の変化について理解している。 ・ コミュニケーション手段と社会の変化の関係性について考えようとしている。	○	○	○	2

2 学 期	・表計算ソフトウェアの書式の設定や配置の変更など、基本的な操作を学習する。 ・表計算ソフトウェアでの数式と関数の利用を学習する。	表計算ソフトウェアの操作	・表計算ソフトウェアの基本操作が身についている。 ・表計算ソフトウェアで数式や関数を利用する方法が身についている。 ・表計算ソフトウェアの操作の考え方から、いろいろな処理の方法を考えることができる。	○	○	○	10
	・データとは何か学習する。 ・データの尺度とは何か学習する。	データの形式	・質的データと量的データの違いを理解できる。 ・名義尺度、順序尺度、間隔尺度、比例尺度の違いを理解できる。 ・あるデータがどの尺度に当たるか判断できる。	○	○	○	2
	・データベースの役割がどのようなものか理解する。 ・社会でのデータベースの活用例を学習する。 ・データベースで使用するデータモデルについて学習する。	データベースの活用 さまざまなデータモデル	・データベースの利点を理解できる。 ・銀行システム、POSシステムでのデータベースの利用方法を理解できる。 ・データベース管理システムの必要性を理解できる。	○	○	○	2
	・データ分析の流れと方法を学習する。 ・分析の目的に合わせたデータの利用方法を学習する。 ・適切なデータの解釈方法を学習する。	データ分析の流れ 目的に合わせたデータの利用	・問題解決におけるデータ分析の位置づけを理解できる。 ・データの代表値とグラフ化による分析方法を理解できる。 ・クロス集計の結果を分析できる。 ・欠損値や外れ値など、適切なデータの選択を判断できる。 ・情報デザインの考えから、適切な構成の発表資料を作成することができる。 ・データ分析の結果と解釈を振り返りながら、データ分析の改善をしようとしている。	○	○	○	2
	・デジタルデータとは何か学習する。 ・デジタルデータのメリットとデメリットを理解する。 ・2進法と情報の単位について学習する。 ・文字のデジタル表現について学習する。 ・音、画像、動画のデジタル化について学習する。 ・デジタルでの色の原理を理解する。 ・デジタル情報の品質の違いについて学習する。 ・データの圧縮について学習する。	デジタルの世界へ 数値と文字のデジタル表現 色と動画のデジタル表現 目的に応じたデジタル化	・2進法、10進法、16進法の仕組みが理解できる。 ・文字コードが理解できる。 ・デジタル化の標準化、量子化、符号化が理解できる。 ・光と色の三原色を理解できる。 ・動画の仕組みが理解できる。 ・画像や音声の圧縮形式を理解できる。 ・デジタルデータとアナログデータを区別できる。 ・デジタル情報とアナログ情報のメリットとデメリットを考えることができる。 ・画像や音声の圧縮形式は何であるか判断できる。	○	○	○	6
3 学 期	・情報通信ネットワークとは何か学習する。 ・LANとWANの違いを学習する。 ・プロトコルとその1つとしてTCP/IPについて学習する。 ・ネットワークを構成するハードウェアについて学習する。 ・サーバーの役割について学習する。 ・インターネットでのIPアドレスとDNSの役割を学習する。 ・認証後に使えるようになるサービスには、どのようなものがあるか調べる。	ネットワークとインターネット インターネットの仕組み サーバとクライアント	・インターネットとはどのようなものが理解できる。 ・LANとWANの違いを理解できる。 ・プロトコルと、その1つであるTCP/IPを理解できる。 ・ルータとハブの役割を理解できる。 ・IPアドレスの調べ方が身についている。 ・サーバとクライアントの役割を理解できる。 ・DNSの役割と動作の仕組みを理解できる。	○	○	○	6
	・WWWについて理解する。 ・情報セキュリティを確保するための方法・技術について学習する。	インターネット上のサービス 情報セキュリティ	・Webページを閲覧する仕組みを理解できる。 ・電子メールを送受信する仕組みを理解できる。 ・ファイアウォールについて理解できる。	○	○	○	2
	・コンピュータの基本構成について理解する。 ・ハードウェアとソフトウェアについて理解する。 ・プログラムの動作の仕組みについて学習する。 ・コンピュータの演算の仕方について学習する。	コンピュータとは何か ソフトウェアの仕組み 演算の仕組みとコンピュータの限界	・コンピュータの基本構成を理解できる。 ・基本ソフトウェアと応用ソフトウェアの役割を理解できる。 ・CPUでのプログラムの実行の仕組みを理解できる。 ・コンピュータの演算の方法とその限界を理解できる。 ・AND、OR、NOT回路の仕組みを理解できる。	○	○	○	4
	・アルゴリズムの必要性を理解する。 ・アルゴリズムの表現方法について学習する。 ・プログラムの作り方について学習する。 ・プログラムの制御構造について学習する。	アルゴリズムの表現 プログラムの基本構造 1 プログラムの基本構造 2	・プログラムとアルゴリズムの関係を理解できる。 ・フローチャートでアルゴリズムを表現することができる。 ・プログラムを作ることができる。 ・プログラムを構成する変数を理解できる。 ・分岐構造と反復構造を含んだプログラムを作ることができる。 ・粘り強く、プログラムを作ろうとしている。	○	○	○	10
	・モデル化の考え方と、モデルの分類について学習する。 ・シミュレーションによるモデルの評価について学習する。 ・テーマを決めて、表計算ソフトウェアでシミュレーションを行う。	モデル化とシミュレーション シミュレーションの活用	・物理モデル、図的モデル、数理モデルを理解できる。 ・表計算ソフトウェアでシミュレーションを行う方法を身につけている。 ・モデル化の方法や、モデルの適切性を判断できる。	○	○	○	2
							合計
							70

令和5年度 年間授業計画

教科・科目	社会と情報	単位数	2 単位
教科書 (出版社)	新編 社会と情報 (東京書籍)	学年	3 学年

学期	時間	授業内容（単元）	重点項目・評価の観点
一 学 期	2 4	○ 情報社会の課題を考える ○ 情報機器の基本操作 ○ ワードプロセッサの基本操作 ○ ネットワークを探索する ○ 情報を表現する ○ ワードプロセッサの発展的な使い方	● 情報化が社会に及ぼす影響を理解する ● これまで利用してきた情報機器の操作を確認する ● ワードプロセッサの基本操作を確認し、基本的な文書の構成と設定方法を習得する ● ネットワークの仕組みや情報通信の効率的な方法を理解し、コミュニケーション手段として効果的に活用する方法を習得する ● 視覚に訴えるチラシやポスターの作成方法を習得する ● ワードプロセッサの発展的な使い方を習得する 《評価について》 平常点・課題提出などの総合評価
二 学 期	2 8	○ 情報で暮らしが変わる ○ 表計算ソフトの基本操作 ○ 表作成のための工夫 ○ グラフの作成 ○ プレゼンテーションソフトの基本操作 ○ 効果的なプレゼンテーション	● 問題解決の手法や情報を効率よく収集する方法を習得する ● 表計算ソフトの基本操作を確認し、基本的な関数を理解する ● 見やすい表の作成方法を習得する ● 効果的なグラフの作成方法を習得する ● プレゼンテーションソフトの基本操作を確認し、情報をわかりやすく伝達する方法を習得する ● 効果的なプレゼン資料の作成方法を習得する 《評価について》 平常点・課題提出などの総合評価
三 学 期	1 8	○ 1 年間の総復習	● 教科書の巻末資料で重要用語を復習する ● ソフトウェアの使い方を復習する 《評価について》 各学期の成績から総合的に判断して年間の評価

* 授業は学期毎の予定に時間を示す（目安：1 学期 1 2 週、2 学期 1 4 週、3 学期 9 週）。

* 授業内容は、生徒の理解度等に応じ計画と異なる場合があります。

令和5年度 年間授業計画

教科・科目	情報の科学	単位数	2 単位
教科書 (出版社)	情報の科学 (東京書籍)	学年	4 学年

学期	時間	授業内容（単元）	重点項目・評価の観点
一学期	24	○ コンピュータの仕組みと働き ○ 画像と音の表現 ○ 文書処理ソフトウェアの発展的な使い方	● コンピュータにおける情報のあらし方を理解し、情報の処理を実践する ● コンピュータにおける画像や音の操作の基本を身につける ● 諸活動の中で文章情報の重要性を理解させ、文書作成ソフトを使用して文書作成の基本と発展的な使い方を理解させる 《評価について》 出席日数、関心・意欲・態度、思考・判断、技能、知識・理解を総合的に見て評価する。
二学期	28	○ データベース ○ 問題解決とコンピュータの活用 ○ 表計算ソフトウェアの発展的な使い方	● データベースの知識を身につけ情報検索を実践する ● 問題解決の手段と手法を理解する ● モデル化の考え方について理解する ● 諸活動の中で情報分析の重要性を理解させ、表計算ソフトを使用して情報分析の基本と発展的な使い方を理解させる 《評価について》 出席日数、関心・意欲・態度、思考・判断、技能、知識・理解を総合的に見て評価する。
三学期	18	○ 情報社会の科学的な理解 ○ 総合課題	● 身近な生活の中の情報化の発展について理解する。 ● 情報セキュリティについて理解する。 ● 1年間のまとめとして、習得した技術や知識を使い、課題に取り組みさらなる理解を深める 《評価について》 出席日数、関心・意欲・態度、思考・判断、技能、知識・理解を総合的に見て評価する。

* 授業は学期毎の予定に時間を示す（目安：1 学期 1 2 週、2 学期 1 4 週、3 学期 9 週）。

* 授業内容は、生徒の理解度等に応じ計画と異なる場合があります。

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科

総合的な探究の時間 科目 総合的な探究の時間

教科： 総合的な探究の時間 科目： 総合的な探究の時間 単位数： 1 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ 組

教科担当者：（A組：相楽 昇、伊藤 直大、中井 友子、磯村 海）

使用教科書：（ なし ）

教科 総合的な探究の時間 の目標：

- 【知識及び技能】テーマに沿った調べ学習で学んだことをまとめることができる。
- 【思考力、判断力、表現力等】調べ学習の内容をもとにした企画、実施案を他者にわかるように説明することができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】グループでの活動で主体的かつ積極的に参加している。

科目 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・調べ学習で学んだことを自分の中でまとめることができる。	・結果や根拠をもとにして発案することができる。	・自分の意見をグループ内で共有し、積極的に参加している。
・自分が理解したことを、他者がわかるように説明することができる。	・客観的に実施案を検討することができる。	・自分の役割を自覚し、責任感を持って行動している。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元：文化祭に向けてのテーマ活動 【知識及び技能】 ・調べ学習で学んだことをもとに、他者に説明することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・結果や根拠をもとにして、企画案や改善点、反省点を挙げ、他者に説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の役割を自覚し、責任感を持って積極的に参加している。	・テーマをもとに班で企画を発案し、調べ学習を通して、当日の実施案の作成を行う。 ・試作品の作成や準備段階での方向修正で、改善点やアピールできる点を探求し、客観的に実施案を検討する。	【知識・技能】 ・調べ学習において、自分の中で理解し、他者がわかるように説明することができる。 【思考・判断・表現】 ・結果や根拠をもとにして、企画案や改善点、反省点を他者がわかるように説明することができる。 ・客観的に実施案を検討することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況が良好である。 ・班での活動に積極的に参加している。	○	○	○	14
2 学 期	単元：文化祭に向けてのテーマ活動 【知識及び技能】 ・調べ学習で学んだことをもとに、他者に説明することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・結果や根拠をもとにして、企画案や改善点、反省点を挙げ、他者に説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の役割を自覚し、責任感を持って積極的に参加している。	・作成した実施案をもとに、当日の実施、運営を行う。 ・実施後に振り返りを行い、来年度に向けた反省点や改善点を挙げ、今回の企画に対しての報告会を行う。	【知識・技能】 ・調べ学習において、自分の中で理解し、他者がわかるように説明することができる。 【思考・判断・表現】 ・結果や根拠をもとにして、企画案や改善点、反省点を他者がわかるように説明することができる。 ・客観的に実施案を検討することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況が良好である。 ・班での活動に積極的に参加している。	○	○	○	8
	単元：スポーツの企画・運営 【知識及び技能】 ・調べ学習で学んだことをもとに、他者に説明することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・結果や根拠をもとにして、企画案や改善点、反省点を挙げ、他者に説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の役割を自覚し、責任感を持って積極的に参加している。	・テーマをもとに班で企画を発案し、調べ学習を通して、当日の実施案の作成を行う。	【知識・技能】 ・調べ学習において、自分の中で理解し、他者がわかるように説明することができる。 【思考・判断・表現】 ・結果や根拠をもとにして、企画案や改善点、反省点を他者がわかるように説明することができる。 ・客観的に実施案を検討することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況が良好である。 ・班での活動に積極的に参加している。	○	○	○	8
3 学 期	単元：スポーツの企画・運営 【知識及び技能】 ・調べ学習で学んだことをもとに、他者に説明することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・結果や根拠をもとにして、企画案や改善点、反省点を挙げ、他者に説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の役割を自覚し、責任感を持って積極的に参加している。	・作成した実施案をもとに、当日の実施、運営を行う。 ・実施後に振り返りを行い、来年度に向けた反省点や改善点を挙げ、今回の企画に対しての報告会を行う。	【知識・技能】 ・調べ学習において、自分の中で理解し、他者がわかるように説明することができる。 【思考・判断・表現】 ・結果や根拠をもとにして、企画案や改善点、反省点を他者がわかるように説明することができる。 ・客観的に実施案を検討することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況が良好である。 ・班での活動に積極的に参加している。	○	○	○	9
							合計
							39

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科

総合的な探究の時間 科目 総合的な探究の時間

教科： 総合的な探究の時間 科目： 総合的な探究の時間 単位数： 1 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ 組

教科担当者：（A組：相楽 昇、伊藤 直大、中井 友子、磯村 海）

使用教科書：（ なし ）

教科 総合的な探究の時間 の目標：

- 【知識及び技能】テーマに沿った調べ学習で学んだことをまとめることができる。
- 【思考力、判断力、表現力等】調べ学習の内容をもとにした企画、実施案を他者にわかるように説明することができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】グループでの活動で主体的かつ積極的に参加している。

科目 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・調べ学習で学んだことを自分の中でまとめることができる。	・結果や根拠をもとにして発案することができる。	・自分の意見をグループ内で共有し、積極的に参加している。
・自分が理解したことを、他者がわかるように説明することができる。	・客観的に実施案を検討することができる。	・自分の役割を自覚し、責任感を持って行動している。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元：文化祭に向けてのテーマ活動 【知識及び技能】 ・調べ学習で学んだことをもとに、他者に説明することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・結果や根拠をもとにして、企画案や改善点、反省点を挙げ、他者に説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の役割を自覚し、責任感を持って積極的に参加している。	・テーマをもとに班で企画を発案し、調べ学習を通して、当日の実施案の作成を行う。 ・試作品の作成や準備段階での方向修正で、改善点やアピールできる点を探求し、客観的に実施案を検討する。	【知識・技能】 ・調べ学習において、自分の中で理解し、他者がわかるように説明することができる。 【思考・判断・表現】 ・結果や根拠をもとにして、企画案や改善点、反省点を他者がわかるように説明することができる。 ・客観的に実施案を検討することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況が良好である。 ・班での活動に積極的に参加している。	○	○	○	14
2 学 期	単元：文化祭に向けてのテーマ活動 【知識及び技能】 ・調べ学習で学んだことをもとに、他者に説明することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・結果や根拠をもとにして、企画案や改善点、反省点を挙げ、他者に説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の役割を自覚し、責任感を持って積極的に参加している。	・作成した実施案をもとに、当日の実施、運営を行う。 ・実施後に振り返りを行い、来年度に向けた反省点や改善点を挙げ、今回の企画に対しての報告会を行う。	【知識・技能】 ・調べ学習において、自分の中で理解し、他者がわかるように説明することができる。 【思考・判断・表現】 ・結果や根拠をもとにして、企画案や改善点、反省点を他者がわかるように説明することができる。 ・客観的に実施案を検討することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況が良好である。 ・班での活動に積極的に参加している。	○	○	○	8
	単元：スポーツの企画・運営 【知識及び技能】 ・調べ学習で学んだことをもとに、他者に説明することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・結果や根拠をもとにして、企画案や改善点、反省点を挙げ、他者に説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の役割を自覚し、責任感を持って積極的に参加している。	・テーマをもとに班で企画を発案し、調べ学習を通して、当日の実施案の作成を行う。	【知識・技能】 ・調べ学習において、自分の中で理解し、他者がわかるように説明することができる。 【思考・判断・表現】 ・結果や根拠をもとにして、企画案や改善点、反省点を他者がわかるように説明することができる。 ・客観的に実施案を検討することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況が良好である。 ・班での活動に積極的に参加している。	○	○	○	8
3 学 期	単元：スポーツの企画・運営 【知識及び技能】 ・調べ学習で学んだことをもとに、他者に説明することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・結果や根拠をもとにして、企画案や改善点、反省点を挙げ、他者に説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の役割を自覚し、責任感を持って積極的に参加している。	・作成した実施案をもとに、当日の実施、運営を行う。 ・実施後に振り返りを行い、来年度に向けた反省点や改善点を挙げ、今回の企画に対しての報告会を行う。	【知識・技能】 ・調べ学習において、自分の中で理解し、他者がわかるように説明することができる。 【思考・判断・表現】 ・結果や根拠をもとにして、企画案や改善点、反省点を他者がわかるように説明することができる。 ・客観的に実施案を検討することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況が良好である。 ・班での活動に積極的に参加している。	○	○	○	9
							合計
							39

令和5年度 年間授業計画

教科・科目	総合的な探究の時間	単位数	1 単位
教科書 (出版社)	なし	学 年	3 学年

学期	時間	授 業 内 容 (単 元)	重 点 項 目・評 価 の 観 点
一 学 期	1 4	4 月 オリエンテーション 5 月 文化祭に向けてのテーマ 活動（企画案作成） 6 月 文化祭に向けてのテーマ 活動（試作品の作成） 7 月 文化祭に向けてのテーマ 活動（販売品の作成）	【重点項目】 ・テーマをもとに班で企画を発案し、 調べ学習を通して、当日の実施案の 作成を行う。 【評価の観点】 ・出席状況。 ・班での活動における積極性。 ・調べ学習における理解度。
二 学 期	1 6	9 月 文化祭に向けてのテーマ 活動（実施） 10月 文化祭に向けてのテーマ 活動（事後学習・報告会） 11月 スポーツの企画・運営 活動（テーマ決定・企画） 12月 スポーツの企画・運営 活動（調べ学習）	【重点項目】 ・テーマをもとに班で企画を発案し、 調べ学習を通して、当日の実施案の 作成を行う。 【評価の観点】 ・出席状況。 ・班での活動における積極性。 ・調べ学習における理解度。
三 学 期	9	1 月 スポーツの企画・運営 活動（実施・運営） 2 月 スポーツの企画・運営 活動（実施・運営） 3 月 スポーツの企画・運営 活動（事後学習）	【重点項目】 ・テーマをもとに班で企画を発案し、 調べ学習を通して、当日の実施案の 作成を行う。 【評価の観点】 ・出席状況。 ・班での活動における積極性。 ・調べ学習における理解度。

*授業は学期毎の予定に時間を示す（目安：1 学期 14 週、2 学期 16 週、3 学期 9 週）。

*授業内容は、生徒の理解度等に応じ計画と異なる場合があります。

令和5年度 年間授業計画

教科・科目	総合的な探究の時間	単位数	1 単位
教科書 (出版社)	なし	学 年	4 学年

学期	時間	授 業 内 容 (単 元)	重 点 項 目・評 価 の 観 点
一 学 期	14	4月 オリエンテーション 5月 文化祭に向けてのテーマ活動（企画案作成） 6月 文化祭に向けてのテーマ活動（試作品の作成） 7月 文化祭に向けてのテーマ活動（販売品の作成）	【重点項目】 ・テーマをもとに班で企画を発案し、調べ学習を通して、当日の実施案の作成を行う。 【評価の観点】 ・出席状況。 ・班での活動における積極性。 ・調べ学習における理解度。
二 学 期	16	9月 文化祭に向けてのテーマ活動（実施） 10月 文化祭に向けてのテーマ活動（事後学習・報告会） 11月 スポーツの企画・運営活動（テーマ決定・企画） 12月 スポーツの企画・運営活動（調べ学習）	【重点項目】 ・テーマをもとに班で企画を発案し、調べ学習を通して、当日の実施案の作成を行う。 【評価の観点】 ・出席状況。 ・班での活動における積極性。 ・調べ学習における理解度。
三 学 期	9	1月 スポーツの企画・運営活動（実施・運営） 2月 スポーツの企画・運営活動（実施・運営） 3月 スポーツの企画・運営活動（事後学習）	【重点項目】 ・テーマをもとに班で企画を発案し、調べ学習を通して、当日の実施案の作成を行う。 【評価の観点】 ・出席状況。 ・班での活動における積極性。 ・調べ学習における理解度。

*授業は学期毎の予定に時間を示す（目安：1 学期 14 週、2 学期 16 週、3 学期 9 週）。

*授業内容は、生徒の理解度等に応じ計画と異なる場合があります。

令和5年度 第2学年 人間と社会 年間指導計画

都立松原高等学校定時制課程

1 授業の1単位時間：（45分）

2 生徒数 5名

3 年間指導計画：

学期	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間	
				演習	体験
1	事前学習	各テーマと体験活動について説明	体験活動の意義・目的	2	
	人間関係を築く	良好な人間関係を構築するコミュニケーションの取り方や他者理解	自他を大切にする態度	4	2
	支え合う社会	地域社会とのつながる大切さを意識	規範意識の向上	2	
		地域のイベント「しもたか商店街クリーン大作戦」へ参加し、地域課題を理解			2
	地域社会を築く	地域が取り組む環境維持について理解	環境美化の推進	2	
		地域の課題を理解し、環境美化やマナーの促進ポスターを制作（地域とのつながり）			2
	働くことの意義	校内において仕事分野別ワークショップを展開し、自己の将来と照らし合わせ、興味・関心のある仕事を体験	社会的自立に向けた自己発見	4	
2	支え合う社会	減災に向けた自助・共助についてグループ討議（災害発生時における高校生の役割を理解）	行動力・判断力の育成	2	2
		地域社会の問題解決能力についての理解	地域への自発的な貢献力	2	
		「火の用心」を促すポスター制作により地域への安心・安全についての理解（地域貢献）			2
		地域社会とつながることの大切さの再認識			2
3	地域社会を築く	学校最寄駅周辺の清掃活動を実施し、地域社会が抱える問題について理解	地域社会へ関わる行動力	2	2
	働くことの意義	本校卒業生を招き「なぜ学ぶのか」をテーマにグループで意見交換し、学ぶことの意義を理解	進路実現に向けた人間力の向上	4	
	事後指導	振り返りと意識変化について自己評価	授業をとおして身に付けた考え方の再認識	2	
配 当 時 間 合 計				26	14